

鐵道敷設法案特別委員會會議事速記録第二十一號

大正十一年三月二十日(月曜日)午前十一時九分開會

○委員長(伯倫林博太郎君) 是ヨリ鐵道敷設法案特別委員會ヲ開會イタシマス、大體質問ガ終了イタシタヤウニ考ヘマスカラ、御異議ガゴザイマセヌケレバ、本日ハ討論ニ移リタイト思ヒマス

○異議ナシト呼フ者アリ

○委員長(伯倫林博太郎君) ソレデハ討論ニ移リマス

○男爵斯波忠三郎君 私ハ本案ニ不賛成ノ者デアリマス、其理由ヲ申述ベタイト存ジマス、敷設ノ理由ハ澤山ゴザイマスガ、便宜上過日質問ヲ致シタ場合ニ區分ケテナサツタ、其區分ケニ大體依リマシテ討論ヲ致ス方ガ便宜ト考ヘマスカラ、其順序デ申述ベタイト存ジマス、第一ハ經濟問題ニ對シテデアリマス、經濟問題ニ對シマシテハ、何レ遠キ將來ニ於テ鐵道ノ目下經營ノ計畫力終ッタナラバ、或ハ終ヘナイ中ト雖モ、御當局ノ説明ヲ見マス、ヤルカモ知ラヌト云フヤウナコトデアリマス、ソレデアリマスガ、此鐵道網ノ計畫ハ政府ニ於テハヤル御見込デアアルモノト思ハナケレバナラナイノデアリマス、爾カ致シマス、第一鐵道ノ現在ノ財政狀態ガ如何デアアルカト云フコトヲ知ラムガ爲ニ、過日來此經濟問題ニ對シマシテハ、長ラク質問應答ガアツタノデアリマス、而シテ阪谷男爵カラノ御要求ニ依リマシテ、目下經營ノ計畫ニ對シテ如何ナル、收支ノ割合ガ如何ナルコトニナルノデアアルカト云フコトハ、御示シテ願ヒタイト云フコトノ御希望ガアリマシタニ付キマシテ、過日我々ハ十年計畫ノ經濟表ヲ頂戴イタシタノデアリマス、是ニ依ッテ拜見イクシマス、政府ハ建築費ニ於テ戰前ノ費用ノ六割、改良費ニ於テ戰前ノ費用ノ七割ト云フモノヲ計上シマシテ、建設及改良推算ナルモノハ出來タノデアリマス、此點ニ付キマシテ政府御當局ハ、將來十八年度マデハ凡ソ戰前ニ比較シテ、斯ル物價騰貴率ヲ遂行シ得ルコト云フコトヲ御言明ニナツテ居リマス、本員共ノ數多ク資料ヲ判斷イタシテ見マス、鐵道ニ要スル材料品ノ改良ノ如キ、果シテ何割ト云フヤウナモノデ目下行ケルヤ否ヤ、又將來モ其率ト考ヘテ宜シイモノデアアルヤ否ヤヲ疑フノデアリマス、申シマス、現在ニシマシテモ尙ホ何倍ト云フ數字ヲ……騰貴率ハ何倍ト云フ數字ヲ示シテ居ルノデアリマス、建設ニ關シマシテハ主トシテ勞銀ガ主ナモノデアアルト私ハ承知イタシテ居リマス、材料モ可ナリアリマスケレドモ、此材料ノ中ニ目下下落ノ趨勢ニアルモノハ、鋼鐵等手軌

條橋梁材ト云フヤウナモノ、主ニ「セメント」ノ如キハ低下ノ趨勢ニハアリマスケレドモ、其他ノモノハ餘リサウ云フモノハ下ラナイモノト思ハザルヲ得ナイノデアリマス、又勞銀ハ是ハ單ニ鐵道ダケノ問題デアナイ、一般工業ニ於キマシテ、特ニ注意セラレテ考慮セラレテ居ル問題デアリノデアリマスガ、勞銀ハ將來左程下ルモノハ思ハレナイノデアリマス、ソレナラバ八時間制ト云フヤウナコトハ、政府トシテハソレヲ採用シナイ方針デアアルト仰セナルヤウデアリマスケレドモ、四圍ノ狀況上、早晚八時間制ト云フヤウナモノニナラナクテモ、勤務時間ト云フヤウナモノガ、一般ニ現在ニ施行セラレテ居ル時間ヨリモ、減ルモノト思ハナケレバナラヌカト考ヘマス、八時間制ガ實行セラレタニ致シマシテモ、現在ノ如キ長イ時間勞働ニ從事シ、又職務ニ從事スルコト云フコトガ果シテ望ミ得ルヤ否ヤト云フコトハ是ハ疑問デアリマス、サウ致シマス、云フコトヲ詰リ建設及改良費ノ上ニ於テ、政府デ見積ラレラレル増加率ヨリモ、甚ダ多ク増加率ヲ要スルモノデアアルト云フコトハ、是ハドウモ想像スルニ難カラスノデアリマス、過日此委員會ノ席上ニ於キマシテハ、平井博士ハ質問ノ意見ヲ述ベラレタ、ソレニ依リマス、云フコト、十年計畫ヲ遂行シテ行ク上ニ於テハ、凡ソ七億ノ不足ガ要ラデアラウ、而シテ其中ノ凡ソ三億位ノモノハ先年運賃ヲ増加セラレタ、其運賃ノ増加ニ依ッテ、償フコトガ出來ラデアラウカラ、差引四億位ノ不足ガ生ジハシナイカ、斯ウ云フコトヲ仰セラレタノデアリマス、ケレドモ、大體高處大處カラ觀察シタ數字デアラウト思フノデアリマスガ、其數字ニ付キマシテハ、私ハ大ニ根據ノアル數字デアラウカト考ヘルノデ、所謂周圍ノ推算ニ對シマシテハ、左様ナ推算ラセルト云フコトハ無理カラヌ推算デアラウト存ズルノデアリマス、即チ戰前ノ物價騰貴率ヲ除キマシタモノニ致シマス、凡ソ十一億ト云フヤウナコトニナルノデアリマス、大體把ノヤウナ勘定デアリマスケレドモ、所謂斯ル推算ニ屬スルモノハ、却テ大體把ヲ推定ノ方ガ、一々細カニ考ヘテ得タ所ノ結果ヨリモ、大體ニ於テ當ルコトガ多イノデアリマス、私ハ寧ロ平井博士ノ述ベラレタヤウナ數字ガ、今後ノ鐵道推算、鐵道財政ヲ推算スル上ニ於テ、當テ居ルコト考ヘルノデアリマス、即チ十一億ハ物價騰貴率デナイノハ、十一億ナルモノハ、現在物價騰貴率二倍以上デアルケレドモ、今後即チ幾ラカ下ルモノデアアルト云フコトヲ考ヘマス、所謂「カウソトナンバー」ヲ取リ合シテ、二倍……斯ウ云フコトニ致シマ

シテ二十二億……十一億ノ二倍即チ二十二億、サウシテ十五億モ減ラサレテ居ルノデアリマスケレドモ、差引ケバ七億、而シテ十八年度マデニ、昨年運賃ノ高上セラレタ爲ニ、三億ノ收入ガアルモノトシテ、四億ノ不足ト云フコトハ是ハ頗ル道理アル推算デアアルト私ハ信ズルノデアリマス、左様ニ致シマス、云フコト、十年計畫ヲ遂行スル上ニ於テモ、政府ガ茲ニ示サレタ所ノ數字ヲ以テ、不足シナイト仰セラレマスケレドモ、斯ル細カナ數字ヨリモ、却テ所謂高處大局カラ達觀的ニ見タ所ノ數字ガ、大體ニ於テ私ハ當ルモノト考ヘルノデアリマス、尙ホ此改良ノ工事ノ上ニ於キマシテハ、昨年モ豫算ノ第六分科ニ於キマシテ希望ガアツタノデアリマス、今年只今六分科ニ於テ鐵道ノ豫算ヲ協賛イタシマス、尙ホ十分ニ御考慮ヲ下サヌト云フコト、官線ニ於ケル輻湊シタ旅客及貨物ノ集配ニ付テ遺憾ヲ殘スノミナラズ、鐵道ト致シマシテハ尙ホヨリ多ク餘裕ヲ、輸送力ニ餘裕アルモノトシマシタルコトヲ希望スル見地カラ致シマシテ、既ニ政府ガ御計畫ニナツテ居ル所ノ改良工事以上ニ、尙ホ十分ノ御考慮ヲ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ置イタノデアリマス、之ニ對シテ鐵道大臣ハ考ヘテヤラウト云フ御答ヲ得タノデアリマス、斯ク申シマス、所以ノモノハ、鐵道ノ現況ヲ見テ見マス、云フコト、前年ニ比較イタシマシテ、車輛ノ使用及ビ機關車ノ割合ト云フヤウナモノガ、著シク増シテ居ルコト云フコトハ如何ナコトデアアルカト云フコト、一杯ニ使ッテ居ル輸送力ヲ、殆ド一杯ニ使ッテ居リ、大シタ餘裕ガナイト云フコトデアリマス、斯ル狀態デアリマス、ト云フコト、一般ノ軍備ト云フヤウナ見地カラ致シマシテ、一朝事ノ有ツタ日ニハ、非常ナル混亂ヲ來ス、所謂交通機關ノ機能ヲ發揮シナイト云フヤウナ場合、立至ラナイトモ保證シ難イト思フノデアリマス、是ヲ本員共ハ非常ニ憂ヘテ居ルノデアリマス、鐵道ナルモノハ少クモ幾ラカ餘裕ガナレバナラヌト云フコトヲ、常ニ考ヘテ居リマスガ、リマス、此戰前ノ利用率、詰リ茲ニ數字ヲ持テ居リマス、餘リ長クナリマスカラ申シマセマスガ、所謂戰前ト同ジヤウナモノガ澤山アラウト信ズルノデアリマス、左様致シマス、ルコト云フコト、目下確定サレテ居ル所ノ改良費以上ニ、尙ホ數多ノ事業ヲ必要トシ、之ニ對シテ多額ノ改良費ヲ必要トスルコトハ、明カナ事情デアラウト思フノデアリマス、鐵道ハ現在ノ如キ狀況ニ在ッテハ如何ニモ憂慮ニ堪ヘヌノデアリマス、而シテ此度本委員等ニ御示シナリマシタ、鐵道

網ノ所謂收益勘定ナルモノヲ拜見イタシマスルト、之ニモ亦收入ノ方多ク見積ラレテ居ルヤウナ傾ガアリマスシ、支出ノ方即チ營業ノ方ハ、少ナク見積ラレテ居ルヤウナ傾ヲ、本員ハ見出し得ルノデアリマス、此點ニ付マシテハ先般質問ノアリマシタ場合ニ、政府當局ト委員トノ間ニ數多ノ問答ノアツタ事ハ、御記憶デアリマセウガ、本員共ハ斯ル益金ヲ得ラレヤウトハ信ジ得ナイノデアリマス、左様イタシマスト云フト、鐵道ノ特別會計ナルモノハ果シテ今後如何ニ成行クカト云フ事ヲ、甚ダ憂ヘザルヲ得ナイノデアリマス、十年計畫デサヘモ之ヲ實行スル上ニ於テ、尙ホ多額ノ費用ガ要ル、費用ガ要ルモノト致シマスナラバ、而シテ新ニ計畫サレル所ノ網ナルモノガ、多大ノ收益デモ舉ゲテ呉レルナラバ、別問題デアリマスケレドモ、是モ缺點ニ近イモノデアルト云フコトニナリマスレバ、鐵道ノ特別會計ノ將來ハ如何ナモノデアアルカト云フコトヲ、大ニ憂ヘザルヲ得ナイノデアリマス、此見地カラ致シマシテモ、今般御提出ニナリタ此鐵道ノ計畫ハ實行シ得ルヤ否ヤヲ、懸念スルノデアリマス、私ハ實行シ得ナイト信ズルノデアリマス、然ラバ斯ルモノヲ架ケテナルゾト言ッテ、政府ガ御示シマシタ所ガ法律ヲ御示シマシタ所デ、何等國民ハ之ニ依ッテ益スル所ガナイノデアラウト思ヒマス、實際行ハレナイ、特別會計ヲ破綻シナイ以上ハ、破綻ヲ來サナイ以上ハ、或ハ一般國費デヤルト云フナラバ別問題デアリマス、併シサウ云フコトニ致シテモ、國家經濟ノ見地カラ致シマシテ、有利デアアルヤ否ヤト云フコトハ無論デアリマス、要スルニ斯ル計畫ヲナサツテモ、是ハ財政ノ上カラシテ私ハ出來ナイコトデアラウト信ズルノデアリマス、次ニ然ラバ我が鐵道ノ將來ニ付テ、鐵道ヲ交通機關トシテ之ヲ最モ有利ニ、又最モ有效ニ使用スルト云フ見地カラ致シマスレバ、過日モ質問ノ條項ノ一ツトシテ加ヘラレテ居リマス、所謂廣軌問題デアリマス、廣軌ノ改築ノ問題デアリマス、鐵道財政ガ不如意デアアルカラ、廣軌問題ノ如キハ出來ナイデアラウト云フ議論ガアリマスガ、併シハ廣軌ニスルト云フコトニ於テ、此全部ヲ一時ニ改築シテ、車輛ナリ機關車ナリヲ總テ一時ニ改築スルト云フコトデアリマスレバ、是ハ高額ノ費用ヲ要シテ、矢張是ハ收益勘定ニ合ハナイモノニナルカモ知レマセウガ、本員ドモノ希望スル所ノモノハ、現在ノ車輛ハ略々歐洲ニ使ッテ居リマス所ノ車輛ニ、匹敵スル位ノ大キサヲ以テ居ルノデアリマス、而シテ軌間ノ改善ヲ致シサヘスレバ、軌間ノ擴張ヲ致シサヘスレバ、之ニ伴ッテ產出ス所ノ利益ハ、多大ナルモノデアラウト本員ハ信ズルモノデアリマス、之ニ付マシテハ鐵道ハ現在ノ狹軌ヲ以テシテモ、ドウカ斯ウカ行キ得ルカラ、強ヒテ軌間ヲ擴ゲル必要ハナイト云フ

御方針デアリマスケレドモ、是ハ國家百年ノ長計ト致シマシテ、軌間ヲ擴張スルト云フコトハ、軌間ヲ多クシテ、所謂標準ノ軌間ニスルト云フコトノ工事ハ、是ハ計畫次第デアリマスケレドモ、單ニ軌間ヲ延バシ、軌間ヲ多クスルト云フダケノ工事デアリマスナラバ、現在ノ既往線ノ廣軌ニ、廣軌ト申シマシテモ軌間ノ變更デアリマス、軌間ノ變更ニ要スル所ノ費用ナルモノハ、十年計畫ノ費用ノ一部ニスルモノハ、一部分ニスラモ當ラナイ位ノ經費デ出來ルモノト、本員ハ信ズルノデアリマス、而シテソレヨリ產出ス所ノ利益ハ、是ハ多大ナルモノデアラウト思ヒマス、運轉ノ經費節約、即チ燃料、牽引力ニ對スル燃料ノ節約其他ニ付マシテ多大ノ利益ヲ感ズルコトハ、明カナ事實デアリマス、又電化ニ至リマシテハヨリ宜ク經濟的ノ結果ヲ生ズルコトモ事實デアリマスカラ、而シテ一方ニ於キマシテ滿洲朝鮮ニ於ケル軌幅等モ同一ニナリタト云フコトデアリマスナラバ、國防上ノ見地カラシテ洵ニ結構ナコト思ヒマス、而シテ今般計畫サレタ網ノ如キモノヲ完成スルヨリモ、多大ノ利益ヲ舉ゲ得ルコトヲ洵ニ決シテシマシテ、利益ヲ舉ゲ得ザル網ノデアリケス、又次ニハ本國有法ト關係ニ付マシテ、先般澤山ノ質問應答ガ交換サレテ居リタノデアリマス、國有法ノ精神ト致シマシテハ、過日其制定當時ニ當局ニ居ラレタ所ノ山之内君ヨリ、全部日本ニ於ケル鐵道ハ、將來全部國有ニスルノガ精神デアリ、斯ウ云フ御説明デアリマシタシ、又其ノ國有法制定當時ニ於テ大藏大臣ヲ動メテ居ラシタ阪谷男爵ノ意見ハ、ソレト少シク違フ様ニ拜聴シタノデアリマス、而シテ當局ハドウ云フ風ニ國有法ヲ御解釋ニナッテ居ルカト云フ事ヲ承ッテ參リマス云フコト、矢張山之内君ノ御述ベニナリマシタヤウニ、大小ノ鐵道ヲ總テ將來ハ國有ニスル方針デアアル、而シテ鐵道國有法ノ第一條ノ、地方ノ交通ニ資スル鐵道ハ此限リニアラズト云フコト、之ヲ民有ニスル、此限リニアラズト云フコト、私設ニ許スコトヲ得ト云フ位ノ御解釋ニナッテ居ルモノデアリマス、其御趣意デ參リマスルト云フコト、全國ニ於ケル幹線ト云ハズ、支線ト云ハズ、總テ將來ハ國有ニスル、國有ニシテ鐵道省ノ所管ノ下ニ管轄ナサル、斯ウ云フ御趣意ト承ルノデアリマス、斯ル種類ノ……種類ノ異ニテ居ルト云ッテハ語弊ガアルカモ知レマセウケレドモ、格ノ違フ總テ幹線ヲ一ノ經營ノ上ニ置クト云フコトハ、果シテ是ハ經營上カラ見テ有利ノモノデアアルヤ否ヤト云フ事ハ、是ハ大ニ疑ナキヲ得ナイノデアリマス、之ヲ工業ニ譬ヘテ見マシテモ、大工業的ニヤッテ非常ニ有利ナモノモアリマス、又小工業的ニ經營シテ有利ノモノモアルノデアリマス、要スルニ一ノ經營ノ下ニ餘リ違フ程度ノモ

ノガ、澤山錯雜シテ居ルト云フコトハ、經營ノ上ニ於テ不利ヲ來スト云フコトハ、是ハ工業ト云ハズ、鐵道ト云ハズ、總テノ經營ノ上ニ於テ其實質ハ認メラレルノデアリマス、即チ東海道線ノ如キ、或ハ山陽線ノ如キ、東北線ノ如キ、立派ナ幹線ヲ經營スルノト、又極ク一地方ノ極メテ閑散ナル鐵道ヲ經營スルノト、又或私設鐵道ノ如キハ停車場ニ一人ヲ二人シカ人ガ居ラヌノデ、車掌ガ降りテ來テ切符ヲ切ルト云フヤウナ停車場モテルノデアリマスガ、或私設鐵道ノ如キ左様ノ程度ノ線路ト、所謂此幹線ニ類スル頻繁ナル線路ト、同一經營ノ下ニ於テ經營ヲスルト云フコトハ、是ハ經營ノ上ニ於テ頗ル不經濟ナヤリ方デアルト云フコトハ、想像スル事ガ出來ルノデアリマス、國有法ノ條文ノ解釋ハ、私共ハ鐵道當局ノ御解釋ニナッテ居ルヤウニ解釋ハ致シマセウガ、假ニ國有法ノ第一條ノ精神ヤ、鐵道當局ノ御解釋ニナリヤウニ解釋致シマシテ、而シテ鐵道ヲ經營スル上ニ於テ經營ノ經濟上ノ見地カラ致シテ、ソレガ果シテソレヲサウ云フ風ニ遂行シテ行クベキモノデアアルヤ否ヤト云フコトヲ大ニ疑フノデアリマス、私ハ寧ろ程度ノ變テ極ク閑散ノヤウナ線路ハ、地方ノ交通ノ目的ニ供セザレル閑散ノ鐵道ハ、是ハ寧ろ私設鐵道ニ許シテ置イテ、私設鐵道ヲシテ經營セシムルヤウニスルノガ、將來ニ爲ニモ有利ト見ルノデアリマス、此見地カラ見マシテモ、目下提出ニナッテ居リマス此鐵道網ノ中ニハ、非常ニ閑散ノ線路モアルノデアリマス、過日モ次官ノ御説明ニ依リマス云フコト、一哩一日營業費ガ十四圓デ出來ル云フヤウナ御見込ノ所サヘモアルヤウデアリマスレバ、是ハ非常ナ貧弱ノ線路デアアルノデアリマスガ、斯様ナ線ト東海道、山陽、山陽鐵道ノ如ク頗ル頻繁ナ線路ヲ、同一經營ノ下ニ置クト云フコトハ、將來鐵道ヲ經營ナサル上ニ於テ、頗ル不利ノコトデアルト私ハ信ズルノデアリマスカラ、少クトモ、此線路中ニ於テ、所謂私設鐵道ト、私設鐵道ニ免許シタモノ、或ハ既定ノ私設鐵道ノ上ニ此線路網ヲ計畫サッテ居ルト云フコトハ、私ハ其意ヲ得ナイノデアリマス、此見地カラ申シマシテモ、此本案ニハ私ハ不賛成デアアルノデアリマス、過日質問ノアリマシタ場合ニ、自動車運搬等ノ關係ト云フコトガ質問サレテ居リマス、此事タル鐵道當局ハ目下自動車ノ進歩ノ狀況カラ推測スレバ、自動車ハ鐵道ノ代用ニ進入ラス、斯ウ仰セラレテ居リマス、代用ト云ヒ補助機關ト云フ、是ハ事實同一ノモノデアラウト思ヒマス、補助機關トシテ考ヘテ見ル餘地ハナイ、是ハナイケレドモ、鐵道ノ代用トシテハ出來スコトト思フデ居ル、斯ウ云フ御答辯デアツタヤウニ記憶致シマスガ、鐵道ノ代用ト云ヒ補助機關ト云ヒ、是ハ考ヘヤウニ依ッテ同ジ事ナルデアリマス、唯タ言ヒヤウガ違フダケナンド

アリマス、而シテ鐵道當局ハ目下自動車ノ經費ハ非常ニ高價
デアッテ、到底收支ガ償ハレナイト云フヤウナ御説明ニモナ
リテ居リマス、併シ其材料タルヤ極ク一二ノ材料ニ過ギナイ
ノデアルカラ、十分ナリト云ヘナイ、是モ自動車ノ經費ハ一
般ニ高價デアリガ故ニ使フコトハ出来ヌト云フヤウナ御考
デアッタヤウデアリマス、自動車ニモイロノアルノデアリ
マシテ、目下日本デモ大分澤山使ハレテ居リマス、例ヘバ鐵
道馬車ノ馬ニ代ヘルニガソリエンデシ「ノ機關車ヲ使ヒ
マシテ、非常ニ有利ニ經營シテ居ルノデアリマス、朝鮮ナド
デモ近頃經營サレテ居ルヤウデアリマス、スルモノヲ交通
ノ目的ニ向テ鐵道省ガ經營ナサル、或ハ鐵道省ガ幾ラカノ
補助ヲ與ヘテ經營サセルト云フヤウナコトガ、此ノ地方開
發ノ捷徑デアリハシナイカト考ヘルノデアリマス、而シテ
其經費タルヤ、鐵道ヲ山間僻地ニ建設スルヨリモ、非常ニ少
イ經費ヲ以テ此運轉ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ事實
デアリマス、斯ル交通機關ノアルノニ、何年後デナケレバ着
手モ出来ズ、又着手シテモ果シテ利益アルヤ否ナト云フヤ
ウナ疑ノアル鐵道ヲ實行セナケレバナラヌト云フコトハ、
單ニ地方ニ鐵道ヲ架ケルト云フ、何ノ爲ニニニ地方民ガ鐵
道ヲ架ケテ果シテ云フ運動ヲスルノデアッテ、事實地方ノ開
發、地方ノ交通ノ爲ニ尙ホヨリ能ク經濟的デアッテ、又速成
的デアル所ノモノヲ、何故御考慮ニナッテ地方ノ開發ノ爲メ
ニ考慮サレナイノデアアルト云フコトヲ、私ハ頗ル遺憾ニ存
ズルノデアリマス、寧ろ斯ル網ヲ、何時出來カ分ラナイヤ
ウナ網ヲ御計畫ニナルヨリ、只今申上ゲタル如ク自動車、無
軌道自動車、或ハ有軌道ノ自動車、或ハ無軌道ノ電車、或ハ
之ニ類スル諸種ノ補助機關ガアリマスノデアリマスカラ、
是等ノモノヲ自分ガ、鐵道省御自身ガ御經營ニナラヌデモ、
若シ必要トアラバ、補助シテヤラシメテモ、地方ノ開發ニ資
スルニハ十分デアルト考ヘルノデアリマス、此網ノ中ニ揭
ガデアリマスル線路ノ中ニハ、一日三列車カ四列車ヲ走ラ
セバ間ニ合フヤウナ所モ、澤山アルヤウニ考ヘテ居ルノ
デアリマスカラ、左様ナ線路ニ對シテハ只今申上ゲタヤウ
ナ交通機關ヲ以テシテ、十分間ニ合フ現況ニアルノデアリ
マス、然ニソレヲナサレナイデ、地方ノ開發ヲ急グト仰
セラレテ、斯ルモノヲ御計畫ニナルト云フノニ對シテハ、
私ハ寧ろ斯ル御計畫ヨリモ、目下非常ニ進歩發達ヲ致シタ
所ノ自動車、有軌道或ハ無軌道ノ自動車、自動車ト申スカ、
内燃機ヲ使用シタル機械トデモ申シマセウカ、自動車ト云
フデモ、語弊ガアルカ知レマセヌ、或ハ無軌道電車ナリ多
ク考慮スベキモノモ考慮セズシテ、斯ルモノヲ計畫ナ
サルト云フコトハ當ヲ得タモノデナイト私ハ信ズルノデ
アリマス、又最後ニ先般質問ノ場合ニ論議サレマシタ

法律上ノ問題デアアルノデアリマス、此法律上ノ問題ニ付
マシテハ、私ハ法律ノ素養ハ一向ゴザイマセヌカラ申上ゲ
ルコトハ出来マセヌガ、質問應答ヲ承ハッテ居リマスト云フ
ト、常ニ鐵道省ガ考ヘテ居ラレタモノ、如クアラズシテ、私
共ハ左様ニ誤解シテ居ルカ知レマセヌガ、本案ハ鐵道ヲ建
設敷設スル、調査敷設スルト云フ法案ニアラズシテ、單ニ是
ハ手續ニ過ギナイノデアアル、手續法ニ過ギナイノデアアル、斯
ウ云フコトニ馬場政府委員及我々同僚ノ間ノ質問應答ニ
依ッテ了解サレタノデアリマス、何モ是ハ法律トシテ我々素
人ノ者ノ考カラ致シマスレバ、何モ是ハ法律トシテ發表ニ
ナラヌデモ、斯ルモノヲ設ケタノデアアルト云フダケラ鐵道
省ニ於テ御計畫ニナッテ居レバ、ソレデ宜イノデアアルト考ヘ
ル、斯ル法案ヲ出シテ建設敷設スル、調査敷設スルト云フヤ
ウナ文句ガアッタガ爲ニ、地方民ノミナラズ一般國民ガ迷ヲ
生ズル法案ノ如キハ、絶對不賛成デアアルノデアリマス、之ヲ
要シマスルニ、第一ハ經濟問題カラ論ジテモ、此事ハ協賛ヲ
スル事ヲ不可ト致シマス、第二ニハ廣軌問題其他ニ關係シ
タルモノトシテモ、此問題ヲ先ニスベキ問題デナイト考ヘ
マス、第四ハ國有法ノ精神云々カラ見マシテモ、大小不揃ナ
ル程度ノ鐵道ヲ、將來鐵道省ニ於テ經營ニナルト云フコトハ、
鐵道財政ノ上ニ於テ非常ナ不首尾ヲ來スモノデアアル、第
五ハ今ノ自動車問題其他ヲ考慮セズシテ、斯ルモノヲ計畫
サレルト云フコトモ、是ハ時宜ニ適シタモノデナイ、第六ハ
法律問題カラ説明ヲ承テ見マスと云フト、斯ルモノハ法律
ニスルト却テ地方民ヲ迷ハス憂ガアルト斯ウ考ヘマスカラ
此法律ニ對シテハ賛成ヲ表スルコトガ出来ナイノデアアリ
マス、以上申述ベマシタル所ヲ以テマシテ、私ノ不賛成ノ理由
ト致スノデアリマス

○子爵大河内正敏君 私ハ只今斯波君ノ述ベラレマシタ事
柄ニ付マシテ反對ノ意見ヲ申述ベテ本案ニ賛成ノ理由ヲ述
ベルモノデアリマス、今斯波君ノ述ベラレマシタコトヲ
極ク簡單ニ一言ヲ以テ評スルコトガ出来ルト思フ、之ヲ一
言ニシテ評スルナラバ、極端ナル論カモ知レマセヌ、言ヒ草
代表サレタ議論デアアル是ハドウモ本員如何ニモ遺憾ニ考
ヘルノデアリマス、何故私ガ斯ノ如キコトヲ言フカト申シ
マスルナラバ、元來此鐵道國有ナルモノノ根本カラシテ御
意見ガ違フテ居ルノデアアル、鐵道ハ申ス迄モナク一種ノ公益
ノ機關デアリマス、公益ノ機關デアッテ同時ニ是ハ文化ノ使
命ヲ有テ居ルモノデアリマス、即チ日本國民デアル以上ハ
何人モ此鐵道ニ依ッテ利益ヲ受ケ、之ニ依ッテ文化ノ發展ヲ
助ケラレナケレバナラナイ使命ヲ有テ居ルノデアリマス、
故ニ此モノハ恰モ道路ト同ジ者デアッテ、何人モ出來得ルナ

ラ自由ニ平等ニ使用シ得ナケレバナラス、而シテ此意味
カラ言フナラバ、日本國內ノ鐵道ナルモノハ必ズ一ツノ統
一セラレタ所ノ機關ニ依テ運轉セラレンケレバナラスノデ
アリマス、極ク私ノ論旨ハ簡單ニ申上ゲマスガ、國防上カラ
考ヘテモ論モナイ話、而モ斯波君モ其點ハ認メラレテ居
ヤウデアリマスガ、一旦有事ノ日ニ當テハ國內ノ鐵道ヲ如
何ニ運轉シ、是ガ輸送ノ連絡ヲ圖ルカト云フト必ズ統一
セラレタ機關ニ依ラナケレバナラス、茲ニ於テ國有鐵道ノ
意義ト云フモノガ最も強ク表現セラレルト思フノデアリマ
ス、例ヘバ其例ヲ言フナラバ英吉利、亞米利加ハ何デア
ルカト云フナラバ、是ハ私設鐵道、此私設鐵道ガ一旦戰ヲ開
イタ時ニハ、英吉利ハ悉ク政府ノ管理ノ下ニ收メラレシマ
ツタ、亞米利加ノ如キハ初メハ政府ノ管理デナカッタ、併ナ
ガラ間接ニハ政府管理デアッテ、ソレデハ到底使用ヲ全ク
ルコトガ出来ナカッタ、終ニハ完全ナル一ノ國有鐵道ノ如キ
戰時ダケハ現象ヲ以テセザレバ輸送ノ圓滑ヲ圖ルコトハ出
來ナカッタ、必シモ戰時ノ鐵道ハ兵員ノ輸送、兵器彈藥ノ輸
送ヲシナケレバナラスノミデナイ、今日ノ戰爭ニ於テハ澤
山ノ軍需品ヲ運搬シナケレバナラス、同時ニ國民生活ノ必需
品ヲ運搬シナケレバナラス、此意味ニ於テモ如何ナル山間
僻地ノ鐵道ト雖モ、政府ハ必ズ統一シタル機關ニ依テ輸送
ナルモノヲ支配シナケレバナラスト云フコトハ、中マデモ
ナイコトデアリマス、更ニ之ヲ近年ノ所謂資本勞働關係ノ
爭議ノ點カラ考ヘテ見マシテモ、必ズ鐵道ナルモノハ國有
デナケレバナラスト云フ議論ハ何ニ因ッテ出來テ居ルカ、
ソレハ鐵道ノ企業其モノガ、之ヲ少數資本家ノ手ニ委ス可
カラザルモノデアアルト云フノデアアル、何トナレバ鐵道位多
額ノ資本ヲ固定スル企業ハ殆ドナイノデアリマス、多額ノ
資本ヲ固定スレバ資本主義ノ橫暴ガ現ハレテ來ル、資本主
義ノ橫暴ナルモノハ資本ノ多寡ニ依テ正比シテ増シテ來
ルノデアアル、而シテ又鐵道ナルモノハ獨占的ノ企業デア
リマス、一ツノ都會カラ他ノ都會マデ同ジニ並行シタ、極メテ
近距離ノ並行シタ所ノ線ヲ以テハ、到底兩者ノ線ハ營業シ
切レナイ、勢ヒ是ハ全般的獨占的ノ事業ニシナケレバナ
スノデアアル、故ニ假令是ガ私設鐵道デアッテモ、國ニ依テハ
是ハ法律ニ依テ獨占的ノコトヲ許シテ居ルノデアアル、認メ
テ居ルノデアアル、企業ガ獨占的ノ起ルモノハナイ、獨占的ト云
フノハ最も資本ヲ要スル事業デアアルノデアアル、此事カラシ
テ鐵道ハ必ズ國有ニシナケレバナラスト云フ事ハ近イ例ニ
依レバ英吉利ノ勞働者亞米利加ノ勞働者モ、共ニ之ヲ叫ン
デ居ル、勞資ノ協調ヲ保チ勞資間ノ關係ヲ圓滑ニスル以上
ハ必ズ鐵道ナル者ハ國有デナケレバナラスト確ク信ジテ

居ルノデアリマス、而シテ何人モ此鐵道ニ依テ平等ニ利益ヲ得テ普遍的ニ一地方ニ或ハ一部都會ノミニ限定セラレタル利益ヲ得ル事ハイケナイト云フノガ、是方鐵道ノ根本ノ私ハ主義ヲ思フ、デアルカラシテ諸君ノ言ハレルノハ何時デモ鐵道會計ハ公債ニ依ラナケレバナラス、鐵道ノ財源ハ公債ニ依ラナケレバナラスト云フ事ヲ言フ御居デニナル、其根本ノ議論ハ何處ニアル、何處カラ起キテ居ル、鐵道ノ財源ヲ公債ニ依ラナケレバナラスト云フ根本ノ意見ハ何處カラ起キテ來ルカト言ヘバ、斯ノ如キ公益的ノ者デアッテ、何人モ平等ニ之ヲ使用シ得ルノガ目的デアルカラシテ、之ヲ普通ノ財源カラ持ッテ來タノハ不公平ガ多イノデアル、普通ノ租稅ヲ以テ鐵道ノ建設改良ニ充テルト云フ事ハ最モ不可デアルト云フノガ其根本ノ議論デアルト思フ、議論ノ根本デアルト思フノデアル、若モ鐵道ヲ有シナイ所ノ地方民ガ、一般國稅ニ依テ鐵道ノ建設改良ヲ致サレルト云フコトヲ知ツタナラバ、是ハ不公平ヲ叫バナケレバナラス、何故ナレバ其地方ニ於テハ鐵道ニ依テ得ラレル所ノ利益ト云フ條ハ何モナイ、外ノ地方ノ人民ハ鐵道ヲ利用シテ生産費ヲ廉クスル事モ出來レバ、又運賃ヲ廉クシテ、市場ニ於テモ廉ク物價ヲ供給シテ、生産的ニ競争ラシテ參ルニ拘ラズ、鐵道ノナイ地方ノ人間ハ何等其利益ヲ受ケナイノデアル、而シテソレト又同様ニ若シ一般稅率ヲ以テ鐵道ヲ他ニ敷設セラレテ行クナラバ、益々其敷設サレナイ所ノ地方ノ人間ハ餘計ナル不利ヲ得ルノデアリマス、私ハ一般稅率ニ依ルガ宜イカ、公債ニ依ルガ宜イカト云フコトノ議論ヲ、此處デ長々トハ述ベマセヌケレドモ、若シ公債ニ依ラナケレバナラスト云フコトヲ言フナラバ、其根本ニ於テハ此意味デナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、單ニ鐵道ハ收入會計デアル、特別會計デアルカラシテ利益ヲ得ルノデアル故ニ、公債デ支辨シテ宜イト云フヤウナ、極ク簡單ナル意味デハ私ハ満足スルコトハ出來ナイノデアル、此意味カラ申シマスルナラバ、經濟收入ノ如キハ自カラ解決ガ出來ル、斯波男爵ハ十年計畫ニ於テ收入ノ不足ガアルト云フコトヲ言ハレタ、綿密ナ計算ハ當ニナラズシテ、大ザザナ計算ノ方當ニナル、ドウモ驚入ッテ議論デアルト言ハザルヲ得ナイノデアル、其コトニ付テハ何等反駁ハ致シマセヌガ、私ハ元來此收支豫算、鐵道豫算ニ付テ改良費ニ金ヲ掛ケルト云フコトニ於テ大不賛成デアル、何ノコトヲスルノデアル、此位一地方ノ人民ニ特殊ノ利益ヲ與ヘルモノハナイ、現在有ッテ居ル所ノ鐵道ニ、此上改良シテ餘計ノ利益ヲ得セシメル、鐵道根本ノ基本ヲ誤ッテ議論デアル、鐵道ト云フモノハ公益ノ目的デアルナラバ、是ハ敷地ヲ先ニシナケレバナラス、改良ハ後ニシナケレバナラスコトト思フ、然ニ政府ノ提出セラレタ豫算

ハ、驚クベキ多額ノ改良費ヲ今マデ投ジテ居ル、例ヘバ支出ノ中七割六分、二割四分シカ新線建設ニ使ッテ居ラナイト云フ事ハ、是ハドウモ實ニ怪シカラヌコトデアルト思フノデアル、例ヘバ此意味ニ於テ若シ材料騰貴或ハ其他ニ依テ、十年計畫ガ危殆ニ陥ルト云フ時ニハ、改良費ニ於テ幾ラデモ節約シテ宜イ、今マデノ如ク改良費ヲ多額ニ取ッテ居ルト云フコトハ、根本ニ於テ誤ッテ居ルコトト私ハ思フ、而シテ廣軌鐵道ノ如キニ至ッテハ、是ハ本法案ト何等關係ガナイ、本法案ハ鐵道ノ今後如何ニ敷設スヘキカ、如何ナル箇所ニ敷設スベキカト云フコトガ此法律ノ根本デアリマス、ソレニ對シテ今後廣軌ヲ採用スベキカ狹軌ニスベキカト云フコトハ問題外デアアル、若シ私ノ考ヲ以テ言フナラバ、新線ヲ敷設スル場合ハ廣軌ヲ敷設シテ差支ナイ、若クハ聯絡ガイケナケレバ、何時デモ廣軌ニシ得ルダケノ用意ヲ以テ相談スベキモノデアアル、地方ニ馬鹿ニ立派ナ線路ガ出來テムダデハナイカト言ハレルカ知ラヌガ、決シテムダナモノデアナイ、其地方ニ於テハ永年鐵道方無クテ苦シンデ居ル、其不公平ヲ平等ニスル一ツノ手順トシテ私ハ差支ナイト考ヘテ居ル、併ナガラ廣軌狹軌ノ問題ハ、本法ト何等關係ノナイ問題デアリマス、或ハ自動車ヲ以テ鐵道ノ補助機關トシ、モットノヲ發達サセテ、鐵道ヲ敷カズシテ自動車網ヲ以テシテ十分デアルト云フヤウナ御議論ニ至ッテハ、意外ニ私ハ感シタノデアリマス、斯波君ノ如キ苟モ機械學ヲ修メテ居ラレル方ガ、此點ニ於テ主張サレルノハ最モ怪訝ニ堪ヘナイ、ナゼデアルカト云ヘバ、自動車ノ輸送費用ト云フモノハ遙ニ汽車ヨリ高イノデアリマス、而シテ自動車ニ於テ何ガ一番困難スルカト云ヘバ破損ノ場合ノ修繕デアリマス、日本ノ如キ山間僻地デ鐵道屋ガ一軒モ無イヤウナ所デ、自動車ガ破損シタ場合ハ、其自動車ノ修繕ハドウモ持ッテ行。テヤルノデアリマス、歐米ノ如キ機械工業ガ都市地方間ハ普遍的ニ發達シタ地方ニ於テハ、自動車ヲ以テ補助機關トスルコトハ、最モ宜イノデアリマスケレドモ、日本ノ如キ尙ホ未ダ機械工業ガ極メテ幼稚ナ地方ニ於テハ、如何ニ考ヘテモ自動車ヲ以テ少クモ鐵道網ノ代用トスル、自動車道ヲ造ッテ、鐵道網ノ代用トスベシト云フヤウナ議論ハ、決シテ生レテ來ナイノデアリマス、而モ其自動車道路ト云フモノハドウデアアルカト云ヘバ、此維持ニモ非常ニ費用ヲ要スルノデアリマス、東京市ノ道路ヲ御覽ナサイ、直グ分ルデハゴザイマセヌカ、路面ノ單位、面積ノ負擔力ヲ御考ニナレバ、直グ分ルノデアリマス、造ルトキハ容易ク出來ルカ分リマセヌガ、修繕スル所ノ困難ハ非常ナモノデアリマス、始終ソレニ對シテ多額ノ修繕費ヲ要サナケレバナラス、阪谷男爵ハ過

般ノ歐洲戰後御覽ニナッテ、如何ニ自動車道路ガ發達シテ居ルカト云フコトヲ御覽ニナリマシタ、私モ此點ニ於テハ頗ル同感デアリマスガ、其自動車道路ヲ維持シテ行クノニ、多額ノ費用ガ掛ッテ居ルト云フコトハ御述ベニナラヌノデアリマス、私モ其道ハモウ數回其處ヲ往復イタシマシタ、甚シイ道路ニナリマス、廢兵……廢兵デモアリマス、老年ノ兵隊、豫備兵後備兵或ハ國民軍ノヤウナ者ガ道路ノ兩側ニ垣ヲ作ッテ、一遍自動車ガ通ルト穴ガ出來ルカラ、直グ砂利ヲ掛ケテ居ル、斯ノ如クマデシテ道路ヲ修繕シテマデモ、自動車ヲ通ジナケレバ戰線ニ於テ要求セラる、軍需品ガ輸送シ切レナカッタ、已ムヲ得ザル程度ニ於テ自動車道ナルモノガ、斯ノ如クニシテ發達シタノデアリマス、而シテ若シ今後、日本ガ自動車道路ヲ採用スルト云フナラバ、是ハ無論結構ナコトデアリマスガ、之ヲ以テ鐵道網ヲ補フ……鐵道網ヲ補フト云フデアリマセヌ、鐵道網ノ一部ヲ止メテマデ自動車道路ニスルハイケフ議論ハ到底行ハレナイ、第四ニ法律問題トシテ之ヲ今日定メル必要デアナイト云フ事ヲ言ハレタノ下ニ、日本ノ鐵道ヲ運轉シ鐵道ノ經營ヲヤツテ行カナケレバナラスト云フトキニ於テ、而シテ日本ノ鐵道ハ如何ニ貧弱デアアルカト云フコトヲ考ヘルナラバ、一日モ早く今後ノ計畫ヲ確定シテ置クコトノ必要ガアル、計畫ヲ確立スルコト云フ以上、其計畫ガ鞏固デナケレバナラス、鞏固ニスルハドウシテモ法律ニ依ラナケレバナラスト云フコトハ、當リ前ノ話デアリマス、或ハ此敷設法ニ件フ所ノ經費ガ、當局ノ豫算ハ極メテ杜撰デアッテ、殆ド是ハ敷設スルコトガ出來ナイト云フヤウナ御意見モゴザイマシタガ、私ハ此調查ガ杜撰デアアルカ杜撰デナイカト云フコトハ、ドウデモ宜イト思フ、ソナコトハ今日問題ニスル必要ハナイ、何トナレバ此鐵道網ヲ段々行ッテ行ク場合ハ、何時デモ豫算ガ件ッテ、チヤント計畫ヲ立テ、來ナケレバ、此鐵道網ハ出來ナイノデアリマスカラ、其時ニ於テ豫算ヲ見テ差支ナイ、併ナガラ今日ノ改正ニ依ッテ見マシテモ、決シテ此表ニ現ハレタ表面ニ於テ何等悲觀スベキ所ハナイノデアリマス、先日、中村君ハ一日ノ營業費ハ十四圓四十四錢ト云フコトデ、到底汽車ハ運轉シナイト仰ッシヤトデアリマスガ、ソレハ列車ノ運行激シキ線ニ於テハサウデアリマセウ、例ヘバ東海道線、山陽線ノ如キニ於テハサウデアリマセウガ、年々之ニ依ッテ計算シテ見マスト云フト、例ヘバ九年度ハ一日ノ營業費ガ一哩尙九十八圓四十八錢ニナッテ居リマス、八年度ハ八十五圓九錢ニナリ、サウシテ飛ンデ四年度ハ二十五圓七十三錢ニナッテ居リマス、併シ

是ハ非常ニ頻繁ナ列車ノ通行アル線ヲ入レテノ計算デアリ

マスカラ、斯ノ如キ數字ガ出ルノデアリマス、極列車ノ運轉
同數ノ少カク時代ニ於テハ是ハズト少クナルノデアリマ
ス、二十回以下ニナッテ居ルノガ澤山アル、若シ之ヲ更ニ
細カク計算シヤウトスレバ一車輦哩ニ對スル營業費ト云フ
モノガ茲ニ出テ居ル、第十一表、此一車輦哩ニ對スル營業費
ガ大正九年度ニ於テハ十一錢八厘四毛幾ラ、故ニ若シ假ニ
之ヲ十車輦結シタトスレバドウナリマス、先ヅ初メ五車輦
結シタモノト致シマス、五車輦結シタモノトスレバ第一列
車ヲ一哩動カス費用ハ五十九錢二厘ニナリマス、上下、上リ
下リヲヤルニ付テ一圓十八錢四厘デアリマス、故ニ十四圓
四十四錢ヲ一回十八錢四厘割ルナラバ十列車「コンマ」六
七ト云フ數字ニナリマス、五列車輦結シタ場合ハ一日少ク
モ十回上下往復スル計算ニナルノデアリマス、若シ此車輦
費ガ安イト云ハレルナラバ、更ニソレヲ讓ッテ半分ト致シテ
モ宜シウゴザイマセウ、五列車ノ往復ガ出來ル、今斯波男爵
ハ一日三列車トカ四列車トカ言テ居ラレバ、十分ニ之ヲ
運轉スルコトハ可能デアルト思フノデアリマス、併ナガラ
是ハ今日ノ問題デナイ、我々ハ此敷設法ニ伴フ財政計畫ト
シテ知ラウト欲スル所ハ、二十五年目ノ鐵道會計ガドウ云
フ狀態ニナルカト云フコトヲ知リタイ、若シ之ヲ三十年計
畫ヲ以テ敷設シタナラバ、三十年後ハドウ云フ狀態ニナル
カト云フコトヲ知ル爲ノ計算デアリマス、而シテ此鐵道ノ
計算ナルモノハ、毎年上下ノアルコトハ御存知ノ通り、數學
ノ公式ニ依テ計算ラシタ、是ハ一ツノ經濟表ト見テモ宜イ
ノデアリマス、ソレガ極ク滑カナ線ノ出テ來ルト云フノハ
當リ前ノ話、其間ニ幾ラモ上下高低ガアルト云フコトハ、少
シク數理ノ頭ノアル方ハ直グ分ルコトデ、即チ此目ノハ二
十五年若クハ三十年後ニ於テ、鐵道會計ガドウ云フ狀態ニ
ナルカト云フコトヲ知ルノデアリマス、而シテ此計算ニ依
テ先ヅ純益ガアリ得ルコトニナッタ、私ハ實ハ鐵道ト云フモ
ノハ純益ヲ擧ゲル性質ノモノデヤナイト實ハ思フテ居ル、併
ナガラソレハ一ツ又社會政策トシテノ議論デアッテ、是ハ想
フニ日本全國ノ鐵道網ガ完成セラレタ後ニ於テハ、鐵道ナ
ルモノハ必ヤ是ハ收入ヲ圖ルベキモノデヤナクテ、普通の
ニナッタ以上ニ於テハ運賃ノ引下ガモ斷行スルガ宜シ、或ハ
又列車ノ改良ヲスルモ宜シ、而シテ其負擔ハ國庫ニ於テ爲
スベキモノト言ッテ差支ナイト考ヘルノデアリマス、以上ノ
理由ヲ以テ考ヘマスナラバ何等此問題ニ對シテ反對スベ
キ理由ハナイノデ、私ハ原案ニ賛成ヲスル者デアリマス
○委員長(伯爵林博太郎君) 是デ休憩ヲ致シマス、午後一
時三十分ヨリ開會ヲ致シマス

午後零時十二分休憩

午後一時四十九分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 是ヨリ鐵道敷設法案ノ特別委
員會ヲ午前ニ引續キマシテ開會イタシマス

○中村是公君 今朝斯波男爵ヨリ本案ニ對スル反對意見ノ
御通告ガアリマシタガ、大河内子爵ヨリ御自分ノ御贊成ノ
御演說トアッテ斯波君ニ對スル御反對ガアリ、又私ニ對シテ
モ御反對ガアッタノデアリマス、私ハ本案ハ反對ノ意見ヲ有
スル一人ナンデアリマス、ソレデ私ノ本案ニ反對ヲ致シマス
ル理由ヲ申述ベル前ニ、先ヅ大河内子爵ノ御申述ベニナリ
マシタ點ニ付テ、私ハ少シク申述ベテ見タイト思フノデア
リマス、大河内子爵ハ今朝斯波君ノ風ナ意味ニ於テ贊成ノ意
思ヲ表明セラレタト私ハ考ヘル次第デアリマス、鐵道ナル
モノハ公益ノ機關デアッテ、又文化ヲ進メテ行ク上ニ付テ大
ナル使命ヲ有スルモノデアッテ、即チ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、一
般ノ道路ト殆ド同ジ様ナ性質ヲ有スルモノデアアルガ故ニ、
鐵道ト云フモノハ國有ニシテ行カナケレバナラヌモノデア
ル、試ニ歐洲大戰ノ時ニ英米ガ鐵道ニ對シテ如何ナル處置ヲ
取ツカト云ヘバ、民有デアアルニ拘ラヌ、戰時中政府ガ之ヲ
管理シタデヤナイカ、即チ統一シテ經營シテ行クト云フコ
トノ必要ヲ認メテ、國ガ管理ラシテ行クノデアリマス、是等
ハ即チ國有トナスベキ理由トシテ證明スルニ足レベキモノ
ト思フ、又之ヲ國有ニシナイト云フコトハ、資本主義ノ甚ダ
シキ橫暴ヲ表明スルモノデアアル、斯ウ云フ風ナ御論旨デア
リマシテ資本主義ノ橫暴ノ御説明モアッタノデアリマスガ、
是等ノコトハ茲ニ管々シク重ネテ申述ベル必要ハナイ、只
今申述ベタコトハ國有ト云フ諸リ性質ノ御説明ヲナスツタ
モノト見ラレ、ソレデ國有ニスルノガ宜イカ、惡イカト云
フコトニ付マシテハ、是ハ私モ敢テ大河内子爵ニ御異議ヲ
申上ゲル筋デヤナイ、國有ニスルト云フコトニ付テ何等私
ハ反對ラシヤウト云フノデアリマセ、又恐ラクハ斯波
男爵モ國有ニスルト云フコトニ付テ、御異議ヲ今朝御申述ベ
ニナッタヤウニハ私ハ考ヘヌノデアリマス、詰リ大體ノ論ト
シテ國有ニスルノヲ是トスルカ、非トスルカト云フコトニ
付マシテハ、恐ラク大河内子爵ト考ヘ一ニシテ居ルノデア
ラウト思フノデアリマス、又大河内君ノ言ハレル道路ト等
シキモノデアアルト云フ御意見ニ於テモ、全然御同意ヲ表ス
ルノデアリマス、而シテ私ハ洵ニ不愉快ニ思ヒマス事ハ、國
有ト云フ根本ノ理窟ニ於テハ、如何様今朝大河内子爵ガ御申
述ベニナリマスルヤウニ、道路ト同ジモノデアアルト云フ意味
ニ於テ云ヘバ、甚ダ明瞭ナンデアリマス、併ナガラ茲ニ大河
内君ト私、茲ニ斯波男爵モ御同感デアラウト思フノデアリ

マスガ、ドノ範圍マデ國有トシテ行クノデアアルカト云フ範
圍ニ付テ、大ニ分ルル所ガアルノデアラウト思フ、ソレデ今
朝來御申述ベニナッタ大河内子爵ノ御言葉ノ節々ヨリ察シ
マスレバ、大河内子爵ハズト如何ナル鐵道ト雖モ總テ國有
ニスル、斯ウ云フ御論旨ノヤウニ拜聴イタシタノデアリマ
ス、併シ是ガ私ノ聽キ間違ヒデアラナラバ、是ハ別デアリマ
スルガ、私ハ大河内子爵ハ全部如何ナル地方ノ小サナ鐵道
マデモ國有ニスベキモノデアアルト云フ根據ノ上ニ今朝御議
論ナスツヤウニ思フ、ソコガ分レル所ナンデアリマス、私共
ハ或範圍ニ國有ハ止メナケレバナラヌ、國有ノミデナイ、私
設鐵道ト雖モ如何ナル所マデモ鐵道ヲ敷設スベキモノデア
ルトハ私ハ思ハナイ、或程度ニ鐵道ト云フモノハ止メナケレ
バナラヌ、如何ナル場所ヘモ如何ナル所ヘモ鐵道ハ要求ノ
アリ次第ニ敷クベキモノデアアルトハ思ハス、是ハ大ニ國有論
ハ同ジク國有論デアッテモ、國有ノ範圍ニ付テ考ヘ異ニスル
ノデアリマス、茲ニ大ナル差ガアル所ヨリシテ其御論說ニ
ナル所ニ從テ差異ヲ生ズルノデアリマス、何故カト云ヘバ、
先程モ御申述ベニナリマシタヤウニ、鐵道ハ國有ニスベキ
モノガ元來ノ性質デアアル、故ニ收支ノ如キモノハ論ズベキ
限リデナイ、斯様ニ御話ニナッタノデアリマス、我々ハ或程
度ニ止ムベキモノデアアルト云フ故ヲ以チマシテ、國有ノ範
圍ニ付テモ考ヘル必要ヲ認メルノデアリマス、是ガ第一ニ
差異ノ生ズル所、又大河内君ハ總テノ鐵道ヲ國有ニスルノ
デアアル、故ニ是ハ收支ノ如キハ論ズルニ足ラヌ、願ミルノ必
要ハナイ、斯ウ仰セニナル、併ナガラ大河内君ニ御聽キシタ
イノハ、只今ノ鐵道ト云フモノハ國家ガ經營ラシテ居ルコト
ハ固ヨリデアリマスルガ、一般會計ニ屬シナイト云フコト
ヲ御忘レニナツタンデハナイカト思フノデアリマス、何故ナ
ラバ鐵道ハ特別會計ヲ以テ其業ヲ營ンデ居ルモノデアッテ、
是ガ建設費ニ改良ト云フモノハ益金及ビ公債ニ依ルト云フ
コトハ、斯ウ云フコトハ法律ノ命令スル所デアリマス、故ニ縱
令大河内君ノ御意思ヲ満足セシメント致シマシテモ、益金
ガナイ、若クハ益金ガアリマシテモ、其益金ガ公債ノ利息ヲ
支辨スルニ足ラヌ斯ウ云フヤウナ場合ニ於テハ幾ラ鐵道ノ
普及ヲ圖ラムト致シマシテモ、特別會計ト云フモノハ其
要求ニ應ゼラレナイ、カルガ故ニ茲ニ收支ノ計算ヲ見ル
必要ガ起ル、收支ノ計算ヲ見ル必要ハ無い、飽クマデモ架
マツタ會計ノ中ニ於テ、又其會計ノ中ニ於キマシテモ、益
金及ビ公債借入金ヲ以テ建設改良費ヲ支辨シテ行クト云フ
組織ノ下ニ於テハ、到底此大河内子爵ノ仰セニナル通り、收
支ノ會計ヲ見ズシテ支辨シテ行クト云フコトハ、到底出來
ナイト私ハ思フノデアリマス、又假ニ一歩ヲ讓ッテ國家ガ自

ラ之ヲ經營シテ居ルト致シマシテモ、國家ノ財源ハ自ラ限
リノアルモノデアル、カルガ故ニ一般會計ガ之ヲ經營シテ
居ル場合ト假定ヲ致シマシテモ、矢張此收支計算ト云フモ
ノハ大ニ考慮シテ事業ノ經營ヲシナケレバナラヌト云フコ
トガ起ルノデアリマス、是等ハ大河内子爵ハ如何ナル御考デ
在ラセラルルノカ知レマセヌガ、收支ノ如キハ見ルニ足
ラス、或ハ無暗ニ何處マデモ津々、浦々マデモ鐵道ヲ敷設ス
ベキモノデアルト云フヤウナ御考ヲ御持チニナルト云フコ
トハ、鐵道會計ガ特別デアルト云フコトヲ御考ヘニナラヌ
結果デハナカラウカ、若シ又一般會計ニ屬スルモノト致シ
マシテモ、財源ノ年度ト云フモノニ御考慮ヲ爲サレタナラ
バ、サウ云フヤウナ御議論ガ起ルベキ筈ハモノデハナイ、
斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス、ソレ故ニ我々ハ常ニ此鐵道
ノ將來ノ經營ニ當リマシテハ、其事業ガ將來及ボス所ノ收
支ノコト、竝ニ現在ノ輸送狀態、竝ニ現在實行シツ、アル所
ノ事業ノ將來ニ付テモ、考慮ヲ費サナケレバナラヌノデア
リマス、ソレカラ又斯ウ云フヤウナ御話モセラレタノデア
リマス、鐵道ハ公債デアルモノデアラデ、公債デアルヲ至當
トスルノデアアル、租稅デアルト云フコトハ甚ダ不公平ヲ
來タス因デアアル、何故ナラバ或一地方ニ租稅デ敷ク場合
ニハ、他ノ租稅ヲ拂テ居ル地方ノ人ノ便益ヲ圖ラヌモノ
デアアルガ故ニ、租稅デアルト云フコトハ不公平ヲ來タスモ
ノデアアル、公債デアルト云フコトガ甚ダ公平ダ、斯ウ云フヤ
ウナ御話ガアツタ、是ハ非常ニ思想ノ上ニ御混雜ガアルカト
私ハ思フノデアリマス、ナゼナレバ租稅デ或鐵道ヲ敷クト
云フ議論ハ、少シモ出テ居ラス、租稅デアルトハ誰モ言ハヌ
ノデアアル、斯波男爵モ仰セニナラナイ、私モ是カラ述ベル
ニサウ云フコトハ申上ゲナイ積リデアリマス、ソコハ大河
内子爵ノ頭ニ非常ニ「コンフュージョン」ガアル、一般會計
デアル場合ノコトヲ御話シニナルカト思フト、サウデ無イ
場合ノコトデアアルカノ如クニ見エル、租稅デアルト云フコ
トハ即チ一般會計デアル場合ニ於テ始メテ起ルコトデア
ル、特別會計デアル場合ニハ、先程申述ベタヤウニ、益金
ヲ以テアル、ソレデ足ラナケレバ公債デアル、又一時借入金
デアルト云フノデアリマスカラ、少シモ此特別會計ノ場合
ニハ租稅ノ觀念ガ起ルノデアリマス、萬一斯ノ如キ無謀ナル計
畫ヲ假ニ遂行シタ場合ニ、特別會計ガ利息ノ負擔モスルコ
トガ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ場合ニハ、一般會計ガ特別會
計ニ補助スルヤ否ヤト云フ間ノ場合ニハ、租稅ノ問題ガ
起テ來ルノデアアル、是ハ過日大藏大臣ニモ御出席ニナリマ
シタ時ニ御尋ネ致シマシタ所ガ、租稅デ以テ鐵道ヲ敷設ス
ル、或ハ特別會計ヲ補助スル、サウ云フコトハ毛頭シナイ、

左様ニマデシテ鐵道ヲ敷設スルト云フ考ハ持タヌ、斯ウ仰
セニナレ居ルノデアリマス、其時ハ大河内子爵ハ御出席ハ
アリマセヌデアリマシタカラ、御存ジニナラヌカモ知レヌ
ガ、サウ云フ御話ガアツタノデアリマス、此租稅ト云フ問題
ハ今ノ場合ニハ起ラナイ、ソレカラ一設會計デアル場合ニ
シテモ、公債デアル一般會計デ此鐵道ヲ經營スルト假定スル、其
場合ニ公債デアレバ不公平ハ無い、租稅デアレバ不公平ガアル
ル、斯ウ假定シテモ甚ダ議論ニ誤ガアル、公債デアル事業ヲ
經營シテモ、其元利ノ償却ハ何デ致スノデアリマス、矢張
租稅デ致スノ外ハ無い、直接租稅ヲ敷設シナイデモ間接ニ矢
張元利ノ償還ハ、公債ヲ募集シテ建設シテモ、租稅デ元利ヲ
償還シナケレバナラヌノダカラ、結局租稅ニ關スル、直接間
接租稅デアル場合ノミガ、國民ノ負擔ニ關スルト云フ譯デハ
ナイ、公債デアレバ等シク國民ノ負擔ニ關係シテ來ルノデ
アリマス、斯ルガ故ニ公債デアルト云フ御議論ハ甚ダ其處ニ
矛盾ガアリハシナイカト、斯様ニ私ハ思フノデアリマス、ソ
レカラ進ンデ斯様ナ御話ヲ益金ガ無ケレバ改良ノ如キハ止
メテモ宜イ、ズン、建設ノミヲ行ッテ差支ナイノデア
アル、改良ハ益金デアル、大開遠デアアル、建設ノミヤレバ澤山
デアアル、改良費ハ足ルノ足ラヌノ、ソナナ事ヲ議論スルノハ、
世ノ中ニ是以上ニ愚論ハナイト云フ様ニ御考ヘニナルノデ
アリマスガ、私ハソレト反對ニ、斯ノ如キ愚論ハ天下ニ大河
内君ヲ以テ私ハ嚆矢トスルト、茲ニ斷言シテ憚ラナイノデ
アリマス、ナゼカト申シマス、建設ヲシナイデモ、改良ハ
是非シナケレバナラヌ、正反對デアリマス、大河内君ト此點
ハ全ク反對シテ居ル、ナゼサウ云フ風ニナルカト申スト、ズ
ンズン建設ヲシテ改良ハ錢ガ無いデ、ヤラヌデ置イタラ、鐵
道ハドウナル、既成鐵道ガ動カナクナル、商工業ニ忽チ差支
ヘル、大河内君ガ旅行スルノニ困ル様ニナル、何ノ爲ニ鐵
道ガアル、圓滿ニ輸送ヲシテ、圓滿ニ商工業ノ發達ヲ圖ル爲
ニアル、年々改良ヲ怠ラデ、輸送ニ適當ナルダケノ改良費ヲ
注ガナカッタ日ニハ、殆ド鐵道ハ有テ無キガ如クニナル、早
イ話ガ昨年ノ大演習ノ場合ニ於テモ、輸送力ノ不十分ナ爲
ニ、兵ノ還送ニ僅カニ二百カ三百ノ車ノヤリ繰リニモ困タ
ツト云フ事ヲ以テ聞イテ居ル、ノミナラヌ今日ノ狀態ヲ以テ致
シマスレバ、或ハ私ハ懼レル、茲ニ大ナル兵力ヲ動カス、若
クハ或輸送ノ爲ニ一日ニ二十列車モ三十列車モ東海道ニ動
カスト云フ必要ガ起ツタ場合ニハドウスル、普通ノ列車ハマ
ルデ止メナケレバナラヌ、マルデト云フノハ語弊ガアルカ
モ知レマセヌガ、殆ド普通ノ列車ハ止マル、東京二百萬人
民ハ餓死セネバナラヌ、又商賣モ止マルノデアアル、貿易モ出
來ナクナル、此位國家ニ對スル經濟上、産業上、弊害ヲナス
モノハナイ、ソレデハ恐ラクハ大河内子爵ノ、改良ノ如何

ナルモノヲ御存ジナイ上ニ於テ、然ル事ヲ仰セニナツタデ
アラウト思ヒマシテ、深ク私ハ咎メナイノデアリマスルガ、
御存ジサウ云フコトヲ仰セニナツタスレバ、是ハ由々シ
キ大事デアアル、私ハ當局ハサウ云フコトハ決シテ仰セニナ
ラス、十分不十分ニ付テハ議論ガアリマスルガ、改良ナドハ
錢ガ無ケレバ打遣テ置イテ、ズン、建設費ニ使ッテ、新線
ノ建造ヲ十分ニシロナント云フコトハ、世界廣シト雖モ大
河内君以外ニハ言フ者ハ無いト私ハ信ズル者デアアル、現ニ
改良ハ鐵道ノ能率ヲ増進スル唯一ノ方法デアアルノデ、既成
鐵道ハ能率ヲ増進セナケレバ運賃ノ遞減モ行ハレナイノデ
アル、商業ノ圓滿モ圖レナイノデアアル、産業ノ振興モ圖レナ
イノデアアル、海外ノ貿易モ起ラヌノデアアル、國家ハ何ガ故將
來ノ發達ヲ期スルノデアアルカ、大河内君ノ所謂公益ノ機關
デアアル文化ノ使命ヲ、如何ニシテ果スノデアアルカ、是等ノ目
的ヲ達セントスルモ決シテ得ベカラザルコトト私ハ思ヒマ
スルノデアリマス、深ク御考ヘヲ願ヒタイノデアリマス、次
ニ廣軌ノコトノ如キハ今云々ト云フコトガアル、又自動車
ノコトナドニ付テモ御話ガアツタノデアリマス、是等ハ何
レ斯波君ヨリ御辯明ガアルノデアリマセウカラ、私ハ此點
ニ付テハ申述ベマセヌガ、新タニ線路ヲ敷ク所ニ廣軌ニシ
テ宜イデヤナクモ、遠タ「ゲ」デ敷クデ置ケバ宜シ、
斯ウ云フヤウナコトモ仰セニナツタノデアアルガ、是等ノ如キ
コトモ殆ド論ズルニ足ラヌ程ノ御議論デヤナイカト思フ、
既成線ガ狹軌デアツテ新タニ造ルモノハ廣軌ニシテ宜イ、斯
ウ云フコトハ大河内君ノ御言葉トシテハ、誠ニドウモ私ハ
了解ニ苦シムノデアリマスガ、サウ云フ風ニ私ハ聽キマ
シタ、若シサウデナケレバ甚ダ仕合セデアリマス、ソレカラ
次ニ私ノ先日申述ベタコトニ付テ御辯明ガアリマシタガ是
ハ私是非一言辯明ヲ申上ゲテ置カナケレバナラヌノデアリ
マスガ、過日中村ハ十四圓ナント云フモノデ汽車ハ動カヌ
ト言フケレドモ、第十一表ノ一車輛哩ニ對スル費用ヲ見、
十一錢八厘何ガシデ動イデ居ルデヤナイカ、是ハ一車輛ノ
經費ガカラ例ヘバ五車牽ケバ五ヲ掛ケテ、之ヲ持ッテ行ッテ
五列車出スナラ、其列車ヲ掛ケテ出セバ、十四圓ナラナンボ
トカ牽カレルノデ、餘程アルト斯ウ云フ御話デアアル、是ハ
大開遠デス、サウ云フ風ニ御話シニナルト、是モ亦大河内君
ノ如キ數理ノ明カナル人ノ御議論トシテハ、甚ダ私ハ不可
解ノ議論ダト思フ、一車輛哩ニ對スル同上營業費、斯ウ云フ
モノハ何ダト云フコトニ御考ヘニナラナイ、營業費ノ中デ
一車ノ動カ費用ヲ出シタダケノ事デ、私ノ過日申上ゲタノ
ハ、營業費全體ガ十四圓ナナンボニナルト申上ゲタ、即チモウ
少シ明瞭ニ申上ゲレバ斯ウ云フ事ダ、此間申上ゲタノハ、二
十五年デ六千三百四十九哩ヲ完成スル表ニ付テ申上ゲタ、

此營業費が初年度ノ即チ第四年目ノ營業費が幾ラニナツテ居ルカト申シマス、二十六萬三千五百九十九圓ニナツテ居ルノデアリマス、更ニ五十哩ノ營業費が一日ニ直シマスルト云フト十四圓四十錢ニナルト斯ウ申シタ、是ハ營業費全體ガ一日ノ費用デアル、今朝大河内君ノ御申述ベニナツタノハ一車ノ一哩一日ノ費用デナラ、丁度モウ少シ能ク分ルヤウニ申上ダレバ、私ノ申上ダタ十四圓四十錢ハ十一表ノ中ノ何所ニ相當スルカラ申上ダタラ、一番御了解ニナルダラウト思フ、シマヒカラ五番目ノ欄ニアル同上營業費トアル之ニ相當スルノデアアル、一日ガ百一圓十六錢一厘ト書イテアル、百一圓十六錢一厘ノ既成鐵道ガ一哩ニ付テ營業費ヲ拂ッテ居ルノニ、只今申上ダタモノハ十四圓四十錢ニシカナツテ居ラス、是デハ汽車ハ動キマセスト斯ウ言フ、大河内君ガ「カーマイル」ト營業費ト間違ヘラレタルハ無理ハナイノダ、過日モ次官モ何カ御辯明ニナツテ居タ、其御辯明ニハ營業費ノ中ノドレカ「一ツヲ捕マヘテ、是ハ幾ラ、十四圓ナラ行カレヌコトハナイ、斯ウ云フヤウナ御話ガアル位デアアルカラ、大河内君ガ「カーマイル」ヲ捕マヘテ營業費ト御間違ヘニナツタハ無理ハナイ、私ハ營業費全體ノ一日一哩ノ御話ヲシタ、アナタハ其中ノ或ル部分ノ「カーマイル」ノ御話ヲナサレル、ソレデヤ行カヌノデアリマス、是ハ能ク表ヲ御覽ナサレバ分ルノデアリマス、ナゼ之デ行カヌカト云ヘバ私設鐵道ヲ御覽ニナツテモ分リマス、私設鐵道ハ官設鐵道ヨリハ餘程其經費ハ少ナクテ済ムノデアリマス、少ナクテ済ミマセケレドモ、ソレニシテモ十四圓ナント云フノハ私ノ調ベタ所デヤナイ、極ケチナ養老ノヤウナ鐵道デモ營業費一日一哩平均二十圓モ掛ッテ居ル、是ガ現今私ノ調ベタ私設鐵道ノ極安イ鐵道ノ、是ハ一番低イ例ナンドス、東武ノ如キハ四十圓モ掛ッテ居リマス、成田ノ如キモ四十圓掛ッテ居ル、是ハ私設鐵道ノ場合ニ於テノ例デアリマス、是ガ今官線ニナレバ四十圓デヤ動イテ居マイト思フ、今官線ニナツテ居マスガ是レ以上ニナツテ居ルダラウト私ハ思フガ、斯ウ云フ風ナ譯デアリマシテ、今朝申述ベニナリマシタコトハ「カーマイル」ト營業費全體ノ御間違ガ元デアラウト私ハ思フノデアリマス、サウ云フ次第デアリマシテ、大河内君ノ御議論ヲ聽イテ見ルト云フト、根柢ニ於テ我々トハ甚ダ一致セナイ所ガアル、サウシテ會計ハ一般會計デアアルノカト思フヤウナ説ガアルカト思フト、特別會計デ御ヤリニナルヤウナ話モアル、又改良費ハ全ク要セヌ、斯ウ云フヤウナ御話ガアルシ、誠ニ其御贊成ノ御理由ハ、私ニハ少シモ理由トシテ聽ク譯ニ行カヌノデアリマス、甚ダ此點ハ大河内君ニ對シテ遺憾ニ考ヘルノデアリマス、サウ云フヤウナ次第デアツテ、私共ノ考ニ依リマスレバ、將來鐵道ヲ

敷設スル場合ニハ、ドウシテモ此鐵道改良ノ益金デヤ行ケルト云フ私ノ意味ハ、益金ノミデヤ行ケルト云フ意味デナイ、公債或ハ借入金デヤ行ケテモ宜イ、成ルベクハ益金ガ負擔シナケレバナリマセヌ、結局益金ガ益金ニ任カセル範圍ニ止メマス、若シソレヲ超越スル場合ハ、一般國民ノ負擔タル租税ニ依ル外ナイノデアリマス、先ヅ一般會計ノ補助ヲ仰ガヌ程度ニ於テ、政務ヲシテ居ルノデアリマス、ソレヲ損失ハ構ハヌト云フコトデアレバ、是ハ議論スル必要アリマセヌ、併ナガラ租税ヲ以テ鐵道ノ建設改良ハ補助シナイト云フ立論トシテ議論セムトスルノデアリマスカラ、茲ニ收支ノコトニ付テ大ニ論結スル必要ヲ感ジテ居リマス、故ニ是カラ收支ノコトニ付テモ申上ダタイト思ヒマス、大河内君ハ收支ヲ見ルノ必要ヲ感ジナイト云フコトデアリマスガ、甚ダ御氣ノ毒デアアル「子爵大河内正敏君」サウ云フコトハ申シマセヌト述フ「ソレハ私ト見解ヲ異ニスル故ニ、ドウゾ御辛抱ヲ願ヒマス、ソレデ收支ノ點ヲ申上ダル以前ニ、私ハ何故ニ斯ウ云フ法律ガ要ルノデアアルカ、私ハ此點ニ付テ甚ダ諒解ヲシナイ、是ハ屢々、承ツタガ、承ハルニ從テ分リセヌ、私ハ法律ノ規定ヲ必要トシナイト云フ意見デアアル、此點カラシテモ本案ニ反對イタシナイノデアリマス、何トナレバ抑、計畫ヲ立テバハ其計畫ヲ實行スベキ必要ノ要素ガ備ハラナケレバ、之ヲ計畫スルコトハ出來ナイト私ハ思ヒマス、即チ茲ニ掲ゲラレテ居ル線路ヲ計畫スルト云フ、是レダケノコトヲ整備スルニ必要ナル金額、並ニ之ヲ仕上ゲル時間ノ觀念ガナケレバナラヌト思ヒマス、時ノ觀念ヲ要セズ又金ノ觀念ヲ要セザルモノハ私ハ計畫ト見ナイ、イツヤルカ分ラナイノデアアル、是ハソレデ宜シト仰セニナル、サウ云フモノハ殆ド規定シテ置ク必要ナカラウト思ヒマス、是ハ私ノ議論デアリマス、諸君ニハ之ニ御反對ノアルコトハ能ク承知シテ居リマスガ、私ハ大體ニ於テ左様ニ考ヘルノデアアル、又現敷設法ト雖モ、當初制定セラレタキニハ、斯ウ云フ意味ノ只今御改正ニナラヌトスルガ如キ意味合ノモノデナイ、矢張之ヲ遂行シテ行ク上ニ必要ナル金額年限ト云フモノハ規定ガアツタノデ、又能ク政府ノ方デ誇リトシテ御話ニナツテ、佛蘭西ノ千九百年何カノ敷設ノ法律デアリマスガ、之ニ致シマシテモチヤント金額ト年限ガ規定シテアル、何レノ國ニ於テモ豫定線路ダケヲ法律ニ規定シテ所ハ、私寡聞ニシテマダ承知イタサヌノデアリマス、是ハサウ云フコトノ規定ハ必要ナイ所以ダラウト私ハ深信ジテ居リマス、之ヲ法律家ガ議論ヲスルト、是ハ何ノ爲ニ然ラバ必要カト斯ウ申スト、政府ガ敷カ場合ニハ此線路ニ依ラナケレバナラヌ、義務ヲ負ハセルンダト云フ、斯ウ云フヤウナ事ヲ説明スル人ガア

ル、是等ノ如キモノハ理窟トシテハ必要アルデアリセウガ、實際ノ上ニ於テ何等ノ必要ナイコトデアアル、又事實上是ノ必要ト云フ事ハ認メラレテ居ラスシ、行ハレテ居ラス、法律ハ又サウ云フ事ヲ豫想シテ居ラスト云フノハ、ナゼデアアルカト云ヘバ當初敷設法ガ設ケラレマシタキニモ、豫定線ガ出ルト同時ニ一期線ニ上ガッタ、サウシテ其以後モ豫定線ニ入レルト同時ニ一期線ニ上ガッテ居ル、豫定線ニ入レルト同時ニ二期線ニ入レルト云フ事ハドウ云フ事カト云フト、ツマリ豫定線カラダナケレバ敷設ガ出來スト云フ意味ヲ裏切ッテ居ル、今後ト雖モ此方針デ御進ミニナルニ相違ナイ、必要ノアルト云フ豫定線ヲ加ヘテ、豫算ヲシナイデ御提出ニナル事ト思ヒマス、サウスルト豫定線ヲ決メタト云フ理由ハ何等ノ理由ヲ持タヌ事ニナル、法律上ノ拘束モ持タヌ、政府ガ是カラ出セト云フ理由ニナラナクナツテ來ル、出シタイ時ニハ豫定線ニ入レテ同時ニ豫算ヲ出シテ、議會ノ協賛ヲ經テ行ケバ必ズ豫定線ダケレバナラヌ、政府ガ敷設ガ出來スト云フ事デナイ、サウ云フ風ニヤリ來ッテ居ルシ、又將來モ左様ニヤリ得ルシ、又サウ云フ風ニヤリ得ル様ナ御説明デアアル、左様ニ致シマスレバ之ヲ決メテ置カナケレバ甚ダ困ルト云フ理由ハ何處ニモナクナル、若シ假ニ違フ當局デアツテ、此線ガ全部氣ニ入ラヌトキハ、五十本デモ百本デモ持ッテ來テ、同時ニ豫算ヲ提出シテ行ケトモ出來得ルト思ヒマス、サウスレバ茲ニ御提案ニナツテ居ル豫定線ハ、法律デ決メテ居ッテモ、何等ノ價值ヲ爲サヌノデアリマス、切リ心配ヲシマスガ、從來ノ經驗ニ徴シテモ隨分豫定線ノ、前ニアツタモノガ後ニナリ後ノモノガ前ニ廻ハサレタコトガ幾ラモアル、是ハ諸君モ疾ニ御承知デアアル、當局モ是ハ否定スルコトハ出來マセヌ、斯ウ云フ考ヘテ見レバ、事體計畫デナイ故ニサウシテ何等ノ必要ナイト云フコトニナル、此敷設法ト云フモノハ是ハ大河内君ノヤウナ聰明ナ方ハ、私ハサウ云フコトヲ言ハズモ疾ニ御承知ノアルコトト私ハ思ヒマス、是ハ第一ノ理由デアリマス、次ニハ結果ニ付テ甚ダ憂ヘルノデアリマス、國家ノ爲ニ深憂ニ堪ヘヌコトニナルノデアリマス、即チ此法案ガ一度通過ヲ致シマスレバ、蜂ノ巢ヲ突イタヤウニ國民ガ騒ク、鐵道敷設ニ熱中シテ運動ヲ開始スルコトニナルノデアリマス、此法律ニ對シテスラ、既ニ諸君ノ御經驗ノ通りニ甚ダシイ運動ガ起ッテ居ル、弊害モ起ッテ居ル、黨勢擴張モ起ッテ居ル、今後之ガ一つノ法律トナツテ出タ以上ハ、豫算ヲ出シテ實際ニ線路ヲ拵エルト云フノデアアルカラ、是コソハ非常ニ激烈ナル運動ヲスルト云フコトハ豫測ニ難カラヌノデアアル、誠ニ憂ヘニ堪ヘヌノデアアル、今日世ノ風教ヲ案シ、又綱紀ヲ益、緩メテ行ク一ツノ大ナル原因

ヲ爲スモノデアルト私ハ確ク信ズル、政府當局ハ斯ウヤツテ
置ケバ非常ニ此運動ヲ緩和スルガ如クニ過日大蔵大臣モ御
話ニナリ、當局大臣モ御話ニナツタデアリマシタ、ソレハ
思ハザルノ甚ダシイモノデアル、ソレハ私ハ今申上ゲルヤ
ウニ運動ハ一層激スルコトヲ認メルコトハ、火ヲ脂ハヨリ
モ炳ナコトデアラウト思フ、是ガ即チ國家風教ヲ害スル所
ノ大原因トナル、爲政者トシテハ誠ニ慎マナケレバナラヌ
事デアル、併ナガラ之ニ代ルダケノ利益ガアルナラバ敢テ
私ハ異議ヲ申サスノデアリマスガ、先程申上ゲマシタヤウ
ニ本案ト云フモノハ法律ヲ規定シテ何等ノ當局ニ利益ヲ與
ヘナイ、斯ウ云フ者ヲ有テ居リマスル故ニ、弊害ノミ殘ル
ト云フコトハ是ハ重大ナコトデアラウト思フ、故ニ此將來
ニ對スル弊害ノ見地ヨリシテ、本案ニ付テ反對ヲ致スノデ
アル、是ガ第一ニ私ノ反對ノ理由デアル、次ニ經濟上ノ根據
ニ付テ本案ニ私ハ反對ヲシナケレバナラヌデアル、ソレ
ハ如何ナルコトカト申シマスレバ、今朝斯波男爵ヨリモ段
々御話ガアリマシタカラ重複ノ點ハ成ベク避ケマスルガ、
私ノ申述ベルコトニ必要ナル部分ハ申サナケレバナラヌカ
ラ、或部分ノ重複ハ已ムヲ得ナリ、其點ハドウカ御許シテ願
ヒタイ、即チ十年計畫ノ遂行ノコトデゴザイマスガ、是ハ私
ハ結果ニ付テ申上ゲマスレバ、斯波君ト同ジク十年計畫ヲ
遂行スル上ニ於テハ、多大ナル憂慮ヲスル一人デアル、而モ
斯波君ヨリハ以上ノ金額ヲ不足スルコト云フコトヲ考ヘル者
デアリマス、隨テ十年計畫ヲ遂行ノ出來ナイ今日ノ狀
態デアルノニ、今新線ヲ御計畫ナルノハ殆ド意味ヲナサ
ヌ、新線ノ計畫ヲスルコト云フノハ、多少ノ財政ノ餘裕ガナケ
レバ出來ナイコトデアリマスカラ、先ヅ財政ノ餘裕ノナイ
モノハ、餘裕ノナイ經濟ノミデナクナシテ、甚ダ財政ト云フ
モノハ危機ニ瀕シテ居ルモノデアルト云フ事ヲ私ハ證明シ
タイト思フ、是ハ收支ノ如キハ論ズルニ足ラヌト云フ大河
内サンノ論旨カラ言ヘバ必要ノナイコトデアリマス、私ハ
先程申述ベテ置イタヤウニ、私ハ之ヲ考ヘルコトヲ非常ナ
必要デアルト思ヒマスカラシテ、サウ云フ御論旨ノ御方ニ
ハ御迷惑デアリマスクレドモ、暫ク御勘辨ヲ願ヒタイノデ
アル、十年計畫ヲ大正九年度ノ豫算ヲ御提出ノ際ニ御定メ
ニナツタ時ニ、十八年マデハ如何ニシテ遂行ヲ行ケル
カ、其鐵道會計ノ狀態ヲ御推定ニナツタモノガアルノデアリ
マス、其推定ノ基礎ニナツテ居ル大正九年度ノ事ヲ御話ヲ致
シマセスト分リマセスカラ御話ヲ申上ゲマスレバ、九年度
ノ收入ト云フモノハドウ云フ風ニシテ算定セラレタモノデ
アルト申シマスルコト云フト、大正八年度ノ實際ノ輸送數量
ヨリハ大ナルモノガ基礎ニナツテ、ソレニ或運賃ヲ乗ケテ出
シタモノガ、此大正九年ノ收入ノ基礎ニナツテ居ル、サウシテ

之ニ年々二千二百萬圓ツ、増シテ行クト云フノガ大正九年
度ノ此十年計畫ヲ立テタ時ノ財政計畫ナノデアリマス、是
ガ適當デアルカ否ヤト云フ事ヲ先ヅ考ヘナケレバナラヌ、
大正八年ト申シマスルコト云フト、非常ニ此歐洲ノ大戰ヲ承ケ
タル影響トシテ、財界ノ最モ景氣ノ好カクテ絶頂デアルノデ
アル、ソレニ付テ輸送數量ヲ基礎トシテ將來十年間ノ輸送數
量、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ收入ヲ推定スルコト云フ事ハ、茲ニ既
ニ過大ナリト言ハナケレバナラヌ、或ハ是ガ一箇年トカ二
箇年ト事デアアルナラバ、是ハ已ムヲ得ナイ事カモ知レマセ
ヌクレドモ、戰後十年ニモ亘ラタ先ヅ考ヘルノニ、最上ノ經
濟界ノ輸送數量ヲ抑ヘテ、ソレニ年々二千二百萬圓ヲ見テ
行クト云フコトハ、既ニ茲ニ誤ガアルノデアル、ミナラズ
二千二百萬圓ト云フ數字ハ過大ニ失スルノデアリマス、何
故過大ニ失スルカト申シマスレバ、四十二年ヨリ大正八年
マデノ、四十二年ト大正八年ノ收入ヲ比較シテ、其差額ヲ此
一箇年ニ割リテ出タモノガ二千二百萬圓ニナル、明治四十
二年カラ大正八年ノ收入ヲ較ベテ、大正八年ト四十二年ト
ノ歲計ヲ較ベテ、其差額ヲ一箇年ニ割リテ出タモノガ二千二百萬圓
トナル、此差額ノ平均ヲ將來十年間ニ増スモノト假定シ
タ、而モ八年度以上ニ今是ダケノモノヲ増シテ行クノデア
ル、何故二千二百萬圓ガ多イカト申シマスレバ、二千二百萬
圓ト云フモノハ戰時ノ非常ニ激増ガ入ラテ居ル、之ヲ計算
シタモノヲ將來ニズツ増シテ行クト云フ見方ハ甚ダ穩當
デナイト考ヘタ、故ニ其時ノ此推定ノ二千二百萬圓ハ少ク
モ減少シテ居リマス、云フ事ヲ豫算總會ニ於テモ私ハ斷言
シタノデアル、果セル哉九年度カラ最早收入ハ不足シテ來
タ、議會ヲ終ルト直ニ運賃ヲ上ゲテ、僅ニ九年度ヲ凌イデ行
クコト云フ狀況デアリマス、爾今如何ナル有様デアリマス、
九年度ト十年度ノ豫算ヲ對シテ見マスレバ、千五百萬圓減
參ル、十年度ト十一年度ノ豫算ヲ對シテ見マスレバ、千五百萬圓減
增加シテ居ラスノデアリマス、是ハ豫算ノ上ノ比較デアリ
マスカラシテ、實際九年度十年度ニ於テドウナツテ居ルカト
云フ實數ヲ持タヌカラ申セマスガ、豫算ヲ比較シテ見レバサ
ウ云フ風ニナル、九年度十年度ノ間ニ千五百萬圓「マイナス」
ニナツテ居リマス、豫算ノ増減ガ……ソレカラ十年度ト十一
年度ハ、十一年ノ方ガ僅ニ五百萬圓ノ増ニナツテ居ル、前年
ニ比較シテ……是ガ實際ノ狀態、ダカラ二千二百萬圓増シ
ト云フコトハ、斯ノ如キ實際ノ狀態ヲ呈シテ來タ、増サナ
イノハ大部分デ、歐米各國トモ戰後ト云フモノハ總テ不況
ノ立場ニ在ル、戰前獨逸ガ六朱内外ノ配當ヲシタモノガ、今
日ハ缺損ニナツテ居ル、佛蘭西ノ三四朱ノモノガ是モ缺損ニ
ナツテ居ル、伊太利ノ一二朱配當シタモノモ缺損ニナツテ居
ル、亞米利加ノ四五朱モ配當シテ居ル者ガ二三朱ニナツテ

居ル、英吉利モサウ云フ次第デ、世界一般ノ經濟界ノ不況ヲ
被テ、今日鐵道ト云フ者ハ斯ノ如キ不況ニ陥リテ居ルノデ
アル、日本獨リガ其際別例タルコトヲ得ナイ、一般財界ガ既
ニ世留一般ノ不況ヲ呈シテ來テ居ルノデアリマス、今日ノ
總テノ事業ガサウ云フ風ニナツテ來ルノハ當然デアリマス、
斯ウ云フ風ナ次第デアルカラ、收入ハ既ニ足ラナイコトハ
分ツテ居ル、又經費ノ上ニ付テ之ヲ考ヘテ見マシテモ、經費
ト云フモノハ是ハ幾ラノ率デアアルカト云フト、收入ノ七割
ヲ經費ニ宛テ、居ルノデアル、此收入ノ七割ト云フモノガ
適當デアアルカナイカト云フトコトニ付テハ、私ハ適當デナイ
ト思フ、何故カト申シマスルコト云フト、先程斯波男爵カラモ
申述ベマシタヤウニ、輸送ノ緩和モシナケレバナラヌ、勞働
ノ時間モ八時間ト云ハヌ迄モ、段々短縮シテ行カナケレバ
ナラヌト云フコトハ世界ノ大勢デアル、又世ガ發達スルニ
從テ、總テノ設備ガ向上スルト思フ、下ガリッコハナイ、段
々觀察シテ經費ト云フモノハ爾後増ストモ減ル傾ヲ持タヌ
ノデアル、列國ノ鐵道ノ困テ居ルノモ總テソレデアル、營
業費ガ段々當テ行ク、又既往ノ實績ニ考ヘテモ六割五分、
或ハ七割位ヲ行テ居ル場合ガ幾ラモアル、是ハ申上ゲテ置
キマスガ、無理ノコトヲスレバ出來マス、人ヲ無闇ニ減ツテ
見タリ、或ハ補修ヲ無闇ニ落シテ見タリ、算約スベカラザル
モノヲ節約シテ汽車ノ危害ヲ顧ミナイト云フコトヲ以テス
レバ、如何様ニモ經費ハ下ゲルコトハ出來ル、併シ是ハ適當
ノ程度ノコトヲ考ヘナケレバナラヌ、私ハ適當ノ標準ニ於
テ御話ノスルノデアリマス、極端ナル遺算算段ヲシテ行カ
ヌ場合ヲ想像スルノデアル、サウ云フ風ニ考ヘテ見マスル
ト、經費ト云フモノハ上ラウトモ下ラウ氣遣ヒハナイ、又此
中ノ一例ヲ見テモ、公債ノ利息ノ計算モ間違テ居ル、五分
ニシテアル、是ハ一分ハドウシテモ違フ、利廻リニスレバド
ウシテモ六朱以上ニナラナケレバナラヌモノト私ハ思フ
ノデアル、サウ云フ風ノコトヲ考ヘテ見マス、既ニ此物自
體ガ足ラナイ、益金ガ此通りニ出ナイト云フコトハ明瞭ノ
コトト思フ、況ヤ先程斯波男爵カラ委シク御述べニナツタヤ
ウニ、建設改良費ガ六割ヤ七割デ行クモノデハナイ、之ヲ思
ヘバ財源ノ不足ト云フコトハ明瞭ナデアル、又其上ニ改
良計畫ト云フモノガ唯今ノ現狀デ行ケルカト云フト、是ハ
只今ノ現狀デハ満足ハ出來ナカラウト思フ、但シ大河内君
ハ改良ヲヤラヌデモ宜イト云フノデアリマスレバ別デ
アリマスガ、早イ話ガ工費ノ中ノ十年計畫ヲ見テモ、停
車場費ガ一億三千万圓位シカナイノデアリマス、是デ大
キナ停車場ノ改良ヲ要スルモノハ幾ツアルカ、數ヘ來タ
レバ大停車場ト云フモノハ總テ改良ヲ要スル、名古屋、
大阪、神戸、下關、及其他第二流ノモノニ至ツテモサウ云フ

モノガ多々アル、是等ハ日ニ月ニ材料ノ高クナテ行クノデ
アリマスカラ一億五千萬ノ金ハ直グナクナル細カイ
停車場ノイデクル位ノモノハ、多少ハ一億二三千萬圓ノ
經費カラ出ルカ知ラヌガ、大體ニ亘ラテ大ナル停車場ヲ改築
スルヤウナコトハ是カラ出ヤウ管ハナイ、又海陸ノ連絡ノ
如キハ如何デアリマスカ、一向見ルベキモノハナイ、サウシ
テ今後世界的ニ商業モ行ハレテ行ッテ、海外ノ貿易ヲ圓滿ニ
シテ輸出ヲ獎勵シヤウト云フ産業ノ方針カラ申シマスレ
バ、此ノ海陸連絡ノ如キハ一日モ緩ウスルコトノ出来ナイ
モノデアアル、是等ニモ多大ノ經費ヲ要スルニ、又操車「ヤ
ード」ノ如キ、停車場ノ設備ノ如キ、舉ゲ來レバ數限リモナク
要ルコトガ澤山アル、是等ハ只今ノ改良費デハ逆モ間ニ合
ヒ切レヌノデアアル、此點ニ付テハ過日平井君ハ五億六億
ノ金ガアレバ、此上五六億増加スレバ、差當リ間ニ合フト云
フコトデアリマスガ、私ハ少クモ十億ヲ要シナケレバ差
當リノ改良ノ必要ヲ充タスコトハ出来ヌ位ニ思フテ居ル
デアアル、斯ウ云フ風ナ見地ニ於テ目下ノ十年計畫ヲ顧ミマ
スレバ、少ナクモ手ノ出シ場ハナイ、故ニ昨年度ノ鐵道豫算
ニ付テ豫算總會ニ於テモ、本會議ニ於テモ、分科ニ於テモ、
希望決議ヲ諸君ガ御認メニナシタ次第デアリマス、九年ノ實
績ニ鑑ミテ此儘デハ行カヌ、改良計畫ハ此儘デハ行カヌ、斯
ウ云フヤウナ貴族院ハ六分科ノ希望ヲ御認メニナシテ居ル、
是ハ御尤ナコトデアラウト思フデアリマス、サウ云フヤ
ウナ有様デアリマス故ニ、如何ニシテモ私等ノ見ル所カラ
スレバ、何トカ現在ノ計畫ノ考ヲ變ヘルカ、何カ茲ニ方針ヲ
改メルコトガナケレバ、將來新線ノ敷設等ハ勿論、事業ノ經
營上ニ非常ニ困難ヲ來タシハシナイカト云フ憂ヒヲ有ッテ
居ルノデアリマス、故ニ此點ニ於テ私ハ本案ニ反對スルモ
ノデアリマスガ、政府ハ之ニ對シテ先般十年計畫ヲ遂行ス
ルニ付テ、更ニ益金ノ推定ヲ御出シニナシタ、此益金ノ推定
ヲ見マスレバ、如何ニモ金ガ入ル様ニ出来テ居ル、此表ヲ見
レバ金ガ入テ來ルノデアリマス、デ或ハ諸君ノ中ニハ此通
リ行クト云フ御考モアリマセウガ、私ハ此通行クコトヲ
甚ダ希望スルノデアリマス、併ナガラ私ハ此表ノ通りニ行
カスト云フ考ガ切ニ起ル、ナゼカト申シマスレバ、第一收入
ハ七分五厘ノ増加ニナシテ居ル、サウシテ而カモ「ゼオメ
トリカル、プログレッション」ト違フテ、從來ノ御推定ハドウナ
ッテ居ルカト云フ、五億二千萬ト云フモノノ五分デ、ハイ
メトリカル、プログレッション」デ増加シテモ七分五厘ニシ
テ、而カモ増進歩合ガ「ゼオメトリカル、プログレッション」
ニシタノハ何タルコトデアリマスカ、又七分五厘以下ナル
モノガ九年、十年、十一年ノ前年ニ比較シテ見レバ、分リマ
ス、九年十年ノ比較ハ、十年ハ前年度ニ對シテ千百萬圓ヲ減

ジテ居リマス、御斷リ申シマスガ、運賃ノ増加ハ省キマシテ
……又十一年ハ僅カ五百萬圓ノ増加ニシカナッテ居ラス、斯
ウ云フ實情デアアルニ拘ラズ、七分五厘ト云フ突飛ノ歩合ヲ
乗ケラレテ行クノハ何ノ爲メカ、求メル所ガアッテ斯ウ云フ
歩合ヲ乗ケテ、而カモ果進ノ方法ニ依ッテト言ハレテモ已ム
ヲ得ヌコトト思ヒマス、此理由ニ付テハ度々伺ヒマシタケ
レドモ、四十二年カラ大正六年マデハ一割六厘ノ増シナ
テ居ル、ソレ故七分五厘ヲ下ゲテ之ニ乗ケタノデアアル、斯ウ
云フコトデアリマス、四十二年ヨリ大正六年マデハ一割六
厘ニナッテ居ルノハ諸君、何ノ爲メト思ハレマスカ、大正五
年六年ト云フモノハ歐洲ノ大戰ヲ受ケテ、大正五年ハ二割
ニ近イ増加ニナッテ居ル、大正六年ハ三割ニ近イ増加ニナ
テ居ルノデアリマス、此二割ニ近イ大正五年、三割ニ近イ大
正六年、此臨時特發ノ特別増加ヲ歩合ト致シテ、十年ニ亘ル
長イ計畫ヲ立テルノハ、眞面目ナル、誠意アル計畫者ト云フ
コトガ出来マセウカ、私ハ甚ダ不深切ナ經營ノ仕振リト思
ヒマス、數字ト云フモノハ將來ニ亘ル場合ニハ成ルベク内
輪ニ見テ行クノガ計算ヲ取ルノ人ノ常道デアラウト私ハ考ヘ
マス、然ニ成ルベク多イヤウニ、多イヤウニ仕向ケテ行ク、
試ニ大正五年六年ノ戰時激増ノ二割三割ト云フ大ナル歩合
ヲ取ッテ、四十二年カラ大正四年マデノ歩合ヲ勘定シテ計算
ニ入レルト、幾ラニナリマスカ、五分ニシカナラナイ、先程
申上ゲマシタ四十二年カラ大正八年マデノ金額ノ差ハ一デ
アッテ、二千二百萬トシタノハ多過ぎル、其多過ぎル經驗ヲ
嘗メナガラ、今提出スルト云フノハ何デアアルカ、此線路ニ二
割三割ト云フ大キイ歩合ノモノヲ以テ計算スルト云フコト
ハ實ニ誠意ノ認ムベキモノガ無イ、甚ダ不深切ナ立テ方デ
アリマシテ、大ニ嘆イテ居ル次第デアリマス、鐵道ノ爲ニ痛
嘆ニ堪ヘナイ、恰モ甚ダ申シニクイ例デアリマスケレドモ
御店ノ番頭サンガ遣込ミラシテ、帳尻ヲ合セルノト同一ノ
ヤウナ感ジガスルノデアリマス、眞面目ニ誠意ヲ以テ經營
スル人ニ於テハ、誠意ト認メラレナイノデアリマス、又支出
ニ至ッテハ、五割八分五厘ヲ御乗ケニナッテ居ル、九年ニハ如
何ニ御乗ケニナシタカ、七割ヲ御乗ケニナッテ居ル、之ヲ二三
年經テ今日ニ於テ五割八分五厘ヲ御乗ケニナルノハドウ云
フ譯デアリマスカ、是ハ偶々豫算ガ十一年度ガ斯ウ云フヤ
ウナ歩合ヲ示シタト云フノガ理由デアリマス、十一年度ノ
豫算ガ示シタノハ何故デアアルカ、石炭ガ下ツタカラデア
ルサウシテ今日ハ人ヲ減シタリ、種々ナ節約ヲシタ、私ハ節約
ハ惡イトハ申シマセヌ、併シ物ニハ程度ガアル、仄ニ聞ク所
ニ依レバ本線ノ枕木ニ困ッテ、側線ノ枕木ヲ以テ入替ヘタト
云フコトヲ聞イテ居リマス、節約ノ極端ニ依ッテハ、本線ノ
枕木ヲ側線ヘ持ッテ行クコトハ聞イテ居ル、本線ヲ取替ヘル

コトガ出来ヌデ、側線ノモノヲ本線ヘ持ッテ來テ間ニ合セタ
ト云フコトヲ聞イテ居ル、併シ是ハ事實ノ保證ハ致シマセ
ヌ、斯ウ云フコトヲシタト云フコトモアル、是等ハ何ノ爲メ
カ、不當ニ工費ヲ節約スルカラ、斯ウ云フコトガ起ル、極ク
甚シイモノデアアル、今日斯ウ云フ風ニ節約ヲシタ其結果、
如何デアアルカト云フコトニ付テハ、私ハ大ニ憂慮シテ居
ル、又石炭ノ如キ、是ハ一時ノ現象ト見ナケレバナラス、現
ニ昨年ノ上半季ノ石炭業者ノ如キ、是ハ四分ノ三ノ無配當
ト云フコトヲヤリマシタ、是ハ此現象ヲ維持シテ行クト聞
思ハヌ、又多少石炭ノ値段ハ芽ヲ吹イデ來ル、又炭業者ニ聞
イテ見テモ、景氣ガ直ッテ來デ、私ハ斯様ナコトヲ聞イテ居
ルノデアリマス、斯ウ云フ一時ノ現象ノ爲ニ現ハレタ五割
八分五厘ヲ以テ、是ハ而カモ豫算デアアル、今後如何ナルコト
ガ起ッデモ、此豫算ガ決ッタナラバ、最早スツト動力サレナイ
ト云フ程度ノモノデアアル、斯ウ云フ歩合ヲ以テ將來ノ財界
ヲ考ヘテ、經費ノ割合ヲ出スト云フコトハ、是亦私ハ誠意ノ
アル深切ナル經營ノ方法ト考ヘ、コトハ出来ナイノデ、甚
ダ遺憾トスルノデアアル、又公債ノ手取ニ至リマシテハ、額
面……「バー」デ舉ゲテ居ル、是等ハ何タルモノデアアルカ、新
線ヲ經營シタ時ヲ舉ゲテ置イテ、純粹ノ計算ヲスルノキハ
「バー」デアアル、同じモノガ同日ニ拵ヘラレル時ニ、斯ウ云フ
矛盾ガアルト云フノハ何デアアルカ、明カニ財源ノ増加ヲ圖
ルト云フコトハ出来ナイト認メテ居ルノデアアル、斯様ニシ
テチヨット捉ヘドコロガアレバ、ソレヲ理由トシテ經費ヲ減
ジ、收入ヲ殖シテ、斯ウヤッテ往ケバ如何ナル計上デモ出来
ルノデアアル、満足ニ作り出シタコトデナクテハ、理據アルモ
ノトハ私ハ考ヘルコトハ出来ナイ、斯ウ云フ基礎ノ上ニ於
テ出来タ表ヲ以テ、満足ニ將來ガ出来ルモノデアアルト考ヘ
ロト仰セラレテモ、私ハ斯ノ如キ數字ノモノニ付テハ將來
安心ヲスルコトノ出来ナイモノデアアル、現在アリマスル九
年度ニ御制定ニナシタ此推定表ニ於テスラ、既ニ私ハ大々的
ノ疑ヲ持ッテ居ル、又私ノ疑ガ現實ニ行ハレテ、不幸ニシテ
表ヲ裏切リツ、アル上ニ、此以上ノ收入ノ増加ガアルモノ
ニ對シテ信用ヲ置ケト仰セニナシタデモ、是ハ事實ガ許サナイ、
現在實ハ九年ニ御制定ニナシタ推定表ガマデ往カナイ、此
通りニ往カナイ、而シテ只今ノ所ハ是以上ノ歩合ニナッテ居
ル、何トシテ信用ヲ得マセウ、之ヲ假ニ見ズニ置イタナラバ、
或ハ是モ信用スルコトガアルカモ知レヌガ、只今現實ニ之
ヲ見テ吳ミモ憂慮シツ、アル、ソレ以上ノ故ニ推定ノ表ヲ
立テテ安心ヲスベシ、安全ナリト、如何ニ呼バレテモ、是ハ
事實ガ許サナイ、到底此今回御提出ニナシタ表ニ信用ヲ置ク
ト云フコトハ、私ダケハ少クトモ出来ナイノデアリマス、カ
ルガ故ニ此十年計畫ハ此儘ニシテハ到底遂行ノ出来ナイイモ

ノデアルト、私ハ思ヒマスルガ故ニ、隨テ新線ノ計畫ナド
ニ付テ御同意ガ出來ナイ、是ガ第三ノ理由デアアルノデア、
ソレカラ新線ノ御計畫デアリマスガ、此計算ノ如キモ甚ダ
私ハ不審ニ堪ヘナイ、第一ニ過日御廻シニナリマシタ新線
ノ經濟表ヲ見マスルト云フ、平均、人頭二十萬ニナツテ居
ル、此表ヲ見マスルト云フ、初年五割……二十萬ノ五割ト
云フト十萬ノ半分増シテ居ル、三十萬ノ計算ニシテアル、三十
萬ニシナケレバ計算ガ立タヌノデア、何ノ爲ニ五割ヲ増
シテ計算ラシタノデアアルカ、五割ヲ増ス理由ガ私ニハ分ラ
ナイ、ノミナラズ、既成線ノ二十年間ニ旅客ガ四倍ニ分増シ
テ居ル、貨物ガ十五倍六分増ス、斯ウ云フモノヲ十一臺ニシ
テ此表ガ出來タト云フ御話デアアル、是ハ如何デアリマスガ、
既成線ノ三十年ト云ヘバ、一番好イ場所デアッテ、而カモ漸
漸發達シテ往々時ノ鐵道ノ増進歩合ト見ナケレバナラヌ、
此盛大ナル鐵道ノ増進歩合ヲ以テ、此新線ニ當嵌メルト云
フコトガ適當ナリヤ否ヤ、此鐵道ハ如何ナル地デアアルカ、新
線ハ山間僻地デアッテ、勾配モ非常ナ所デアッテ、荷物モ、
旅客モ非常ニ少ナイ、言葉ヲ換ヘテ申上ゲマスレバ、今回御
計畫ニナツタ線路ト云フモノハ、始テ鋪設ラナダ、擇テ擇
ッテ擇リ殘シタ、擇リ出シタ棚古シノ線デアアル、斯ウ云フ所
ニ極ク幹線ノ良イモノ、又初メノ發達ノ最中ノ増進ノ歩合
ヲ以テ、此棚古シノ線ノ増加ノ歩合トスルト云フコトハ、甚
ダ以テ私ハ當ラスト思フノデアリマスケレドモ、斯ウ云フ
風ノ計算ラシナケレバ計算ガ出來ナイ、併ナガラ其計算ノ
仕方ヲ私ハ不當ナリト見ル、而シテ此營業費ノ如キモノニ
至テハ、實ニ私ハ分ラナイ、大河内君ハ非常ニ分ヲト仰セ
ニナルガ、私ニハ分ラナイ、六割五分ト云フモノハ、收入ノ
多イ場合ニハ……六割五分ト云フモノハ、大キナ方ノ六割
五分ハ、ソレハ大キクナル、小サイ方ノ六割五分ト云フノハ
小サイ、是ハ數字上明カデアアル、其小サイモノノ六割五分デ
營業ノ出來ルモノデアナイ、ナゼカト云ヘバ、運賃トカ或モノ
ニ比例スルカ知レヌケレドモ、コンスタントノモノガ幾
ラモアル、停車場ノ費用トカ、色々ノモノガアル、收入ノ方
ニ比例シナイデ要スル費用ガ幾ラモアルコトデアリマスガ
ラ、此一日四十圓トカ、ナントカ云フ營業費デハ困ル……四
十圓デハナイ、十四圓ノヤウナ營業費デハ出來ル事ハナイ、
私設鐵道ニモナイ、是ハ「カーマイル」デハアリマセヌ、營業
費デアリマス、實ニ此計算ノ立テ方ト云フ者ハ、マルデ算盤
屋ガシタノデ算盤師ノヤツ者デ、營業當局ノヤルベキ計算
デアナイ、ソレハ今日既成線ノ如ク大ナル收入ノアル場合ニ、
茲ニ七割計畫ナルモノハ、營業費ニスルカ云フ様ナ事ハ、
其實績カラ見テモ、段々經驗デ見テモ往ケルガ、初メニ小サ
ナ二十五圓ト云フ者デ決メテ往タナラバ、逆モイカナイ、

實ニ噸哩デヤツタラ宜カラウト云フ話ガ、昨午出テ、噸哩デ
ヤツタナラバ、ソレコソハ汽車ノ一貨車モ動かヌモノガ出ル、
私ハサウ云フ風ニ列車哩デ出シタモノガアル、此列車哩デ出
シタモノニ依リマスト云フ、是ハ御斷リシテ置キマスガ、
私ガ一人デ拵ヘタ平均デナイ、私ハ甚ダ鐵道ニハ暗イノデア
リマスカラ、友人ノ方ニモ相談シ、斯波君トモ相談シ、四
五ノ者相寄ッテ研究シテ作ツタモノガ茲ニアル、之ニ依リマ
スト六十哩ヲ二十箇年モ建設スルモノトシテ計算シタノデ
アリマス、毎年ノ建設哩ヲ三百哩、ソレカラ初年度ニ於テ三
百哩ヲ建設シテ、ソレカラ其次年度ニ於テ三百哩ヲ開業
ヲ始メルコトニナル、ソレデ二年目ガ營業ノ初年ニナル、是
ハ色々方式ガアリマスガ、方式ハ略シテ、其結果ニ付テ申上
ゲマスト云フ、損失ガ十億以上ニナル、此計算ニ依リマス
ト、是ハ色々方式ガアリマスガ、能ク御覽ヲ願ヒタイ、十億
以上ノ損失ニナルノデアリマス、又政府ノ御提出ニナツタ算
出モ、私ハ此間御説明ニナツタ方法ニ依ッテ算盤ヲ取ッテ見タ
ガ、此間御話ニナツタ方法デハ此算盤ガ出テ來ナイ、私ハ不
思議ニ感ズ、私ノ誤デアラウト思ヒマスガ、此間三十年間
ニ旅客ガ四倍、一分、貨物ガ十五倍六分ニナル、ソレデ三十
年目ノ四倍、二割、ソレカラ十五倍六分ト云フモノヲ出シテ
置イテ、ソレヲ三十年間ニ割ッテ、サウシテ出タモノヲ年々
加ヘテ行ツタト云フヤウナ御話ニ聽イテ居ル、所ガ其方法デ
ヤルト此算盤ハ出テ來ナイ、是ハ如何カ私ノ算盤違ヒカ、政府
ノ算盤違ヒカ知ラヌガ、私ノヤツ所デアラウマセヌ、ソレデ
説明サレタ方法ニ依ッテハ此算盤ハ出テ來ナイ、斯ウ云フ次
第デアリマスカラシテ、私ハ新線ノ何年掛ツタニシタ所ガ、
ヤリ上ゲルニハ多大ノ損失ヲ來タサナケレバナラヌモノデ
アル、特別會計ニ非常ナル損失ヲ來タス、是ハドコカラ補フ
ノデアアルカ、租稅デ補ハムトスレバ一般會計ハ之ニ應ズル
コトガ出來ナイデアラウト思フ、然ラバ到底出來ナイト云
フコトニナル、會計ガ損失ヲスルノミナラズ、斯様ナモノハ
殆ド敷設スル價值ノ無イモノト私ハ認メマスノデアリマ
ス、此理由ヲ以テマシテ私ハ本案ニ反對ヲスルノデアリマ
ス、ソレカラ又此新線ハ既成線ニ對シテ之ヲ比ベテ見マス
ト、非常ナ並行線ト「ジョット、カッ」ガアル、殆ド四百九
線路ノ中デ四百九線ハ並行線及ビ「ジョット、カッ」デア
延長ガ四千七百九十哩デアアル、斯ウ云フ線路ヲ若シ數イタ
時ハ、只今ノ既成線ノ收入ト云フモノハハウント殺ガレルノ
デアアル、現ニ歐米ガ今日僅ニ二三米ノ利益ヲ擧ゲテ居ル、又
其他ノ國ニ於テ缺損ヲ來タシテ居ル大ナル原因ハ、並行線
ノ多イト云フコトガ非常ナ原因ヲ成シテ居ル、是ハ前世紀
ノ中頃ニ殆ド此今我ガ國民ガ熱狂シテ居ルガ如キ、鐵道狂
ト呼バレタ時代ガアル、其時代ニ無暗ニ並行線ヲヤツタ、今

我國ハ其歐米ノ前世紀ノ中頃ノコトヲ繰返サムトスル有様
ガ見エル、鐵道次官ハ先日自分等ハ殆ド敷設ガ病ダト自ラ
言ッテ居ラレル、敷設ガ病ダ、病デナケレバコンナモノヲ考
ヘナイ、甚ダ危險ナル病デアアル、斯ウ云フヤウナ次第デアリ
マスカラ、私ハ本案ハ速ニ否決セラレムコトヲ切ニ希望イ
タシマス

○子爵大河内正敏君 私ハ極ク簡單ニ中村サンノ誤解ヲ正
シテ置キタイト思ヒマス、私ノ述ベマシタ論旨ニ付テ一々
誤解ヲ正スト非常ニ長クナリマスシ、是ハ速記録ヲ御讀ミ
ニナレバ能ク分カル、例ヘバ改良費ヲ一圓モ使ハナクテモ
宜イナドト云フコトハ決シテ私ハ申シテ居ラナイ、唯鐵道
會計デ餘計改良費ニ使フコトハハハハ國家全體ノ上カ
ラ考ヘテ一部ノ人士ヲ利益スルモノデハハ不公平デアルト
云フコトヲ申シタノデアリマス、一々其他ノ點ニ付テ論ジ
テ居リマスト云フ、又辯駁ニ次グニ辯駁ヲ以テスルト云
フコトニナリマスカラ略シマスガ、只一ツ明カニ中村君ノ
誤解デアルト思フノハ、今「カー」哩ノ問題デアリマス、私
ノ計算ハ逆ニ計算シタ、此方法ニ依ッテ計算スル場合ニハ、
逆ニ計算シナケレバ出テ來ナイ、極ク簡單ナ算術デアリマ
スカラ、是ハ中村サンノ御分リニナツテ居ルト思ヒマス、所
謂「ゼオメトリカル、プログレッション」ヲ御論ジニナル御方
ガ、此計算ガ御分リニナラヌト云フ事ハ無イト思ヒマス、十
一錢八厘ト云フノハ、是ハ一車ガ一哩駛走スルニ要スル總
營業費デアリマス、アナタノ仰シヤル總營業費ハ此五行目
ニアル所ノ一日一哩營業費即チ大正九年年度ニ於テハ百一圓
十六錢一厘デアリマス、私ハ若シ鐵道省ノ此計算ニ誤謬ガ
アツテハ何ニモナラヌカラ、私ハ自分デ計算シテ見タ、サウ
シタハ此數ガ九十八圓四十八錢ニナツタ、ナゼ百一圓ト差ガ
起ツタカト言ヒマス、私ノ探ツタ所ノ哩ハ九年度ノ初カラ全
線ガ營業シタト云フ假定ノ下ニ計算シタカラ、チヨット茲ニ
二圓何ガシノ差違ヲ生ジタ、尤モ此營業費ハ何デ出テ來ル
……宜シウゴザイマスガ、此營業費ハ何デ出テ來ルカ御分
リニナル、ソレカラ四行目ニ今言ヒマシタ十一錢八厘ニ持ッ
テ行ッテ此全線動イタ車輛ノ數ヲ掛ケレバ是ガ出テ來ル、デ
アリマスカラ逆ニ此十一錢八厘ヲ車輛ノ數ニ掛ケレバ、一
列車ガ一哩ヲ走行スルニ要スル費用ガ出テ來ル、宜シウゴ
ザイマスガ、デアアルカラシテ上下ト考ヘレバソレノ二倍ニ
スル、即チ一圓十八錢四厘ト云フモノガ一列車ガ一哩上下
スルニ要スル費用デアリマス、ソレデ十四圓四十四錢ヲ割
レバ十列車「コンマ」六七ト云フ數ガ出テ來ル、汽車ガ動カ
ヌコトハドウシテモ無イト云フコトハ、私ノ此計算ニ基イ
テ居リマス、是ガ御分リニナラナケレバ是ハドウモ誠ニ已
ムヲ得スト云フヨリ仕方ガ無イノデアリマス、而シテ二十

ゲダイ、佛蘭西ガアノ時期ニ於テ是ダケノ者ヲヤツタデハナ
イカニ二十五箇年ニ是ダケノ者ガ出来タノニ、日本デ出来ナ
イコトハナイト云フ御話デアリマス、是ハヤツテヤレナイコ
トハナイ、金サヘアレバ、金ガ何所ニ在ルカト云フコトヲ私
ハ承知シタイソビデ先程モ縷々申シタヤウニ、鐵道ハ特別
會計デアアル、一般會計カラ金ヲ出シテ損得ヲ選バズニヤレ
バヤレナイコトハナイ、公債ヲ募ルデヤレバヤレル、私ハ特
別會計デ以テ是ダケノモノガ二十五年ニナリ三十年ナリニ
ヤレルト云フ計算ガ出ナイト云フコトヲ申上ゲルノデアリ
マス、絶對ニヤレナイ、總テノ條件ヲ除ケテ考ヘレバ大河内
君ノ御議論ガ出ルノデアリマスケレドモ、特別會計ノ財政
ノ狀態ヲ考ヘテ、是ダケノモノガ二十五年ハ愚カ、三十年デ
モ四十年デモ出来ナイ、斯ウ云フノデアリマス、別ニ大河内
君ト何ニモ違フ所ハナイ、改良デモ何デモ止メヤウデハナ
イカト云フ議論ナラ……

デアリマス、先ヅ本案ノ制定後ニ於ケル將來ヲ考ヘマスルニ、今日ノ場合ハ殊ニ實業ノ發展、工業ノ振興ヲ圖リ、國運ノ伸張ヲ期サナケレバナライ場合デゴザイマスルカラシテ、鐵道ノ敷設ハ一日モ緩ウスルコトハ出來ナイ、産業ノ發達工業ノ振興ヲ圖リマスニハ、單ニ鐵道ノミヲ以テ足レリトハ致シマセスケレドモ、總テニ於テ輸送ノ便利ト云フコトハ、之ヲ助長セシムル所ノ一大機關デアルト信ズルノデゴザイマス、故ニ將來ノ我國ノ發展ヲ圖リマスル上ニハ、此鐵道敷設ト云フコトニ付キマシテハ一日モ緩ウスルコトガ出來ナイ、速ニ法案ノ制定セラレムコトヲ望ムノデアリマス而シテ如何ニ必要ナリト雖モ、經濟ノ點ヲ無視シテ之ヲ實行シヤウト云フ無謀ノ考ハ懷カス、經濟上ニ於キマシテモ十分ノ考慮ヲ有スルコトハ勿論デアリマス、而シテ此敷設法案ハ經濟ノ點ニ於キマシテハ、時ノ財政經濟ノ狀況ヲ見テ許ス範圍ニ於テ敷設スベキ所ノ資格ヲ得ヤウト云フノデアアリマスカラ、洵ニ當ヲ得タル案ナリト私ハ信ズルノデア

居ル所ノ財政上ノ方針トシテハ緊縮節約的主義ヲ採テ居ル、殊ニ軍備縮少ヲ進メシメ此經濟界ノ今日ノ狀況ヲ緩和シタルト云フ方針ヲ採テ居ル場合ニ、本案ヲ出スト云フコトハ或ハ矛盾ハシナイカト云フ阪谷男爵ヨリ大藏大臣ニ向テ御質問ガアリシタ、洵ニ御尤モ千萬ナ話デアッテ、流石ニ經濟上ニ常ニ心ヲ注ガレテ居ル所ノ穩健ナル御思想ヨリ出デタ御質問ト靜聽イタシマシタガ、私ニ於キマシテハ現在執テ居ラレル現内閣ノ財政方針ニ何等矛盾スルコトハナイ、斯ウ常識上判斷イタスノデゴザイマス、ト申シマスモノハ公債支辨ニ依ル所ノモノガアッテモ、國內ノ經濟界ノ模様ニ見テ、此程度ナラバ宜シイト云フ見込ガ附イタ範圍ニ於テ國債ヲ募ル、斯ウ云フ大藏大臣ノ御意思ノヤウデアリマスカラ、洵ニ御尋ネニナッタノハ御尤モデゴザイマ스가、答ヲ得テ見マスレバ敢テ之ヲ憂慮スルニ足ラスコトデアルト私ハ信ズルノデ、而シテ勿論此鐵道敷設ニ關シマサル所ノ資源ハ……資源其他ハ總テ特別會計ニナッテ居ルノデアリマシテ、現ニ中村氏ヨリモ述ベラレマシタ通りニ、鐵道ノ益金ヲ以テ新タニ敷設スル所ノ資金ノ利子ヲ支拂フ、サウシテ行クト云フコトナラバ、敢テ咎メル譯デハナイト云フヤウニ、先刻モ御述ベニナリマシテ洵ニ御尤モノ説ト思ヒマス、而シテ今出テ居リマス所ノ百四十九線ヲ敷設セラル、モノニ向ッテノ、當局者ノ御考ハ如何デアルカト申シマスルト、將來既設鐵道ヨリ收益ヲ得テ所ノモノヲ以テ之ニ充テムトスルモノデアアル、併ジ足ラザル所ハ一時國債ヲ仰グコトハ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フヲ御趣意デゴザイマスカラ、其點ニ於キマシテハ中村君

モ御異議ノナイコトト考ヘマス、中村君ノ先刻縹々御述べニナリマシタノハ、當局者ヨリ出シタ所ノ計算方、或ル求メル所ガアツテ拵ヘタモノデアワツテ、少シモ信ズルニ足ラナク、イ不當ノ計算デアアル、斯ウ云フヤウナ御論旨デアリマシタケ、是ハ御當人ノ御意見デアアリマスカラ、靜カニ承リマシタケレドモ、私ハ左様ニハ考ヘマス、一部ノ人ヨリ中村君ハ、鐵道ノ事ニ付キマシテハ權威アリ堪能者デアルト稱セラレテ居ル事デアリマシカハ、私等モ敬意ヲ拂フテ伺フテ居リマシタガ、先日ノ御話ニモ如何ニモ練達ヲ御方ダケデアリマシテ、如何ニモ私ナラバ……足尾鐵道ヲ私方局ニ當ツタ時ニ買上ゲマシタ、是等ハ何トデモ説明ハ付キマス、此位クコトハドウデモ説明ガ付クモノデアリマス、國有鐵道ノ先キヲ延長シシタト云ヘバソレレテ濟ムコトデアアル、斯ウ云フコトヲ確カニ言ハレテ、此言葉ヲ聞イテ私ハ驚入ツタ、如何ニモ斯道ノ權威アル御方ト信ジテ居リマシタガ、斯ノ如キ豪膽ノ……豪語ト申シマセウカ、壯語ト申シマセウカ、責任アリ御方ノ言フベキ事デアハナイ、此一言ヲ以テ如何ニモ澤山數字ヲ竝ベラレテモ、私ハ之ヲ信ズルコトガ出來ナイ、信ヲ置イテ聽ク氣ニナラナイ、是以上ハ敬意ヲ失スルカラ私ハ申シマセマス、實際ヨリ考ヘマシテ、現在ノ既設ノ鐵道及ビ將來敷設セラルル所ノ鐵道ノ收益ガ當局ヨリ示サレマシタ表ノ如キモノハ、絕對ニ是ハ丸デ誤テ居ル、斯ウ云フ御斷定デゴザイマスカ、私一個ト致シマシテハ僅カ四十五哩バカリノ鐵道デゴザイマスケレドモ、自ら主催シテ鐵道ヲ掛ケタ事ガアル、即チ廣島ヨリ三次ニ至ル鐵道ヲ敷設イタサレマシタ、其半バニ於テ歐羅巴ノ戰爭ガ起リマシテ頗ル困難ニ陥リマシタガ、僅カナ地方鐵道デアリマスガ私ガ掛ケタ線路ニ依リマスカレバ、營業ヲ初メマシタ初年ハ一朱二厘二年目ハ五朱ニ滿テマセヌ、三年目ニハ政府ノ五朱ノ補助ヲ受ケズシテ六朱、朱ノ配當ヲ致シタシタ、四年目ニハ六朱、五年目ニハ七朱、而シテ六年目カラハ八朱ノ配當ヲ致シテ居ル、今日デハ九朱ヲ配當ラシタ、確カニ收益ヲ得テ居リマス、此私自身ノ經驗ヨリ推シテ考ヘマスト、今後別表ニ掲ゲテゴザイマス所ノ多クノ線路ノ中ニハ私ガ經驗イタシマシタ程ノ利益ハ見ナイノモゴザイマセウ、併シ私ノ經營イタシマス實驗上ヨリモ、尙ホ優ツタル收益ヲ得ルノモアラウト私ハ思フノデゴザイマス、況ヤ或ル新シキ線路ガ出來マシタガ爲ニ既設ノ線路ニ向ツテ之ヲ榮養シ得ル所ノ利益ト云フモノハ、確カニアルデゴザイマス、是ハ何人モ御考ヘニナルコトト考ヘマスカス、是等ノ常識上ヨリ考ヘマシテ此當局ヨリ示サレタ所ノ案ヲ總テ不當デアルト見ルコトハ如何ナモノデアラウカ、アノ數字ノ通りニ正確ニ一錢一厘違ハナイ結果ヲ見ルト云フコトハ私トテモ決シテ信ジマセヌ、サウ思ヒマセヌ、多少

ノ差ハゴザイマセウケレドモ、大體ニ於テ之ヲ認ムルノガ相當デアルト私ハ思フノデア、又或論者ノ如ク物價騰貴ノタメノ増加ノ見積リガ少ナイ、是デハ連モ行ケル譯ノモデハナイ、不當デア、云フコトヲ頻ニ申サレマスケレドモ、成程物價ハ騰貴セストハ申シマセ、併ナガラ常識カラ考ヘマシテモ、將來物價ガドコモデモ上リ續ケニ上ルモノトハ思ハレマセ、或場合ニハ非常ニ騰貴スルコトハ無論アリマスケレドモ、或場合ニハ又反動ヲ來シテ非常ニ暴落スルコトモアラウト思ヒマス、併シ物價ノ將來騰貴スルト云フコトハ、大體ノ趨勢デ、此後十年間ヲ達觀シタニ於テモ、大體騰貴ノ傾向ヲ持テ居ルト云フコトハ私モ認マスケレドモ、此原案見積ニ於テ六割七割ノ増加ヲ見込デアル以上ハ、之ヲ不當シテ斥ケルト云フコトハ甚ダ穩當ヲ缺クト思ヒマス、故ニ大體ニ於テ當局者ノ説明サレタ所ヲ私ハ是認スル、是認スルト同時ニ、將來ノ施設ニ對シテ考慮スル事ハ無用トハ申シマセウケレドモ、一面ニ於テ殖産ノ發達工業ノ振興交通ノ伸張ヲ圖リマスニ上ニ於テ、殊ニ歐米各國ノ今日ノ事情ニ鑑ミマシテ、我が日本ハ是ヨリ益々進歩發達セヌケレバナラヌノデアリマスカラ、此際ニ於キマシテハ殖産興業上ノ總テニ關係ヲ及ボス所ノ此交通機關ノ速成ヲ、殊ニ必要ト信ズルノデアリマス、故ニ細カク涉テ卑見ヲ述ベマスルコトハ煩ハシクモアリマスシ、ノミナラズ時間ヲ取ルコトデアリマスカラ、大體ニ於テ賛成ノ意見ヲ述ベマシテ、之ダケニ止メテ置キマス

〔中村是公君發言ノ許可ヲ求ム〕
○委員長(伯爵林博太郎君) 中村君ニ申シマスガ、討論ノ形式ニナツテ度、御論ジニナルト際限ガナイト思ヒマスガ、ドウカ……
○中村是公君 イヤ討論デアリマセヌガ、今和田君ノ御述ベノ中ニ、少シ誤解ガアリハセヌカト思フカラ、丁度大河内君ガ私ノ述ベタコトニ辯ゼラレタヤウナ意味ニ於テ、一言申上ダタイト思フ
○委員長(伯爵林博太郎君) 如何デセウカ、サウナツテ來ルト云フト又和田君モ亦言ヒタクナツテ來テ、討論ノヤウニナツテ來テ際限ガナイト思ヒマス
○中村是公君 ソレナラ、又和田君モ御述ベニナツタ宜イデハアリマセヌカ、討論ニナツタ何ゼ惡イノデスカ、何ニモ差支ナイト思ヒマスガ……
○委員長(伯爵林博太郎君) サウナルト益々際限ガナイト思ヒマス、本會議ニ於テハ同一ノ人ガ二度モ三度モ御立チニナルト云フコトハ許シテナイ位デスカ、委員會ニ於テモ多少ハドウカ御考ヘニナツテ戴キタイト思ヒマスガ……

○中村是公君 少シ和田君ノ御述ベニナツタコトノ中ニ、私ノ申シタイコトニ付テ誤解ガアリマスカラ、丁度大河内君ガ御述ベニナツタヤウニ……
○委員長(伯爵林博太郎君) 極簡單ニ其誤ノ點ダケ御述ベニナルナラバ……
○子爵大河内正敏君 若シ中村君ニ御許シニナルナラバ私ハ只今中村君ノ御述ベニナツタコトニ付テ、私ノ申シタコトヲ誤解サレテ居ルト思ヒマスカラ……殆ド全部誤解サレテ居ッタト思ヒマスカラ、ソレニ付テ又申述ベナケレバナラヌ
○中村是公君 ソレナラ宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 是ハ重大な案デアリマスカラ御異議ガアリマセヌケレバ、議會ノ形式ヲ取ツテ順序ヲ逐ウテ行キタイト思ヒマス
〔賛成〕ト呼フモノアリ
○男爵阪谷芳雄君 本員ハモウ極メテ簡單ニ申上ダマス、本員ノ見マスル所デハ、過日來段々當局者ニ質問モシ、法律上ニ付テモ遺憾ナク吟味イタシマシテ、最後ニ大藏大臣ノ出席ヲ乞フテ本員ノ疑ノアル所ヲ質シマシテ、其結果ニ依ッテ此法律ヲ今日定メナケレバナラヌト云フ、緊急ノ必要ハナイヤウニ思フ、色々財政上ニ於テハ之ヲ暫ク延バシタ方ガ、甚ダ其當ヲ得タモノデアルト云フ考ヲ持チマシタノデ、其意味ニ於キマシテ、今年ハ之ヲ暫ク延シテ置キタイト云フ考ヲ有スルノデ、其意味ヲ以テ斯波君ノ御説ニ賛成イタシマス
○子爵時田廣城君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス
〔賛成〕ト呼フ者アリ
○委員長(伯爵林博太郎君) 只今討論終結ノ動議ニ賛成者ガアリマシタ、採決イタシマス、討論終結ノ動議ニ賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス
〔起立者 多數〕

○委員長(伯爵林博太郎君) 多數デゴザイマス
○子爵藤堂高成君 此場合ニ私ハ此敷設法ノ修正ヲ致シタイト思フノデアリマスガ、今申述ベテ宜シウゴザイマス
○委員長(伯爵林博太郎君) 議場ノ三讀會ノ形式ト云フコトニ付テ、只今大體御同意ニナツテ居ルノデ、修正案ハモウ少シ御待テ願ヒタイ、是カラ大體原案ニ付キマシテ、反對竝ニ……只今ノハ間違デス、訂正イタシマス、是ヨリ二讀會ニ移ルト云フコトヲ御諮リヲ致シマスガ、ソレデ御異議ゴザイマスマイカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○中村是公君 二讀會ニ移ルベカラズト云フ説ガアル、二讀會ニ移ルト云フコトダケガ御決マリニナツタヤウデアリ

マス、直ニヤルカラト云フコトハ是カラノ問題デアリマス
○和田彦次郎君 直ニ二讀會ニ移ルコトヲ動議ヲ提出イタシマス
○委員長(伯爵林博太郎君) 二讀會ニ移シテ可ナリト云フ御方ハ起立ヲ願ヒマス
〔起立者 多數〕

○委員長(伯爵林博太郎君) 多數デゴザイマス
○子爵酒井忠亮君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ願ヒマ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○委員長(伯爵林博太郎君) 御異議ガアリマセヌカラ、直ニ第二讀會ヲ開キマス
○子爵藤堂高成君 私ハ修正ヲ致シタイト思ヒマス、其修正ノ所ヲ先ニ申上ダマシテ、簡單ニ其理由ヲ申上ダタイト思ヒマス、敷設法ノ第一條ニ在リマス、「政府ハ帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲別表ニ掲クルニ云々ト云フ」ノ、第一條ノ所ハ「帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲政府ノ敷設スヘキ豫定鐵道線路ハ別表ニ掲クル處ニ依ル、サウ致シマシテ第二條ハ「政府ハ前條豫定鐵道線路ヲ調査敷設セムトシテ、其經費ノ豫算ヲ定メ漸次繼續費ヲシテ帝國議會ノ協贊ヲ求ムヘシ」、ソレカラ附則ノ末項ニ「一項ヲ加ヘタイト思フ、ソレハ「本法施行前鐵道建設費豫算ヲ以テ帝國議會ノ協贊ヲ經タル鐵道線路ハ本法ニ依リ敷設スルモノト看做ス」斯ウ云フ風ニ致シタイト思ヒマス、是ハ別段ニ此帝國政府ノ國有デアルト云フ所ノ主義ヲ變ヘルモノデナイノデアリマシテ、第一條ニ於テ帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲政府ノ敷設スヘキ豫定鐵道線路ヲ定ムル云々トアツテ、鐵道ノ國有主義デアルト云フ事ハ原案ト變テ居ラスノデアリマス、此二條ニ持ッテ行キマシテ、政府ハ前條豫定鐵道線路云々ト致シマシタノハ、財政トノ關係ヲ餘リニ此原案ハ密接ニ書キ現シテアリマス、故ニ財政計畫、收支豫算ヲ伴ハナケレバナラヌト云フヤウナチヨット感ジガスルノデゴザイマス、サナシテ二三十年先ノ計畫計算等ハ今日見込ヲ立テルト云フコトニ致シマシテモ、結局信憑スルニ足ラナイト云フヤウナ非難モアル譯デアリマスカラ、之ヲ二ツニ分ケマシテ修正ヲ致シタイト思フノデアリマス、是ハ原案ノ疑義ヲ少ナクシタト云フ趣意ニ外ナラヌノデアリマス、又非難ヲ緩和スルコトガ出來テ實行上ニ何等差支ナイト思ヒマスカラ、斯ウ云フ風ニ修正ヲ致シタイ、ドウカ皆サシ御賛成ヲ願ヒマス、ソレカラ原案ノ第二條以下ハサウスト三條、四條、五條ト漸次繰下ゲルトニナルノデゴザイマス、御承知ヲ願ヒマス
○和田彦次郎君 只今ノ修正説ニハ賛成デゴザイマス、至

極法文が明瞭ニナリマシテ、疑義ヲ去ル利益ガアルト考ヘマス、賛成イタシマス

○子爵野村益三君 只今附則ノ方ノ御説明ガアリマセヌデシタガ、序ニ御願ヒ致シマス

○子爵藤堂高成君 附則ニ付キマシテハ既ニ一昨年ノ臨時議會ニ於テ決定ニナッテ居リマス本線ガ五線路、輕便ガ二十一線アリマスガ、其後漸次著手サレテ居リマスケレドモ、マダ著手サレテ居ラヌモノモアルヤウデアリマス、來年度ニナルモノモアツクヤウデアリマスカラ、ソレ等ヲ明ニスル爲ニ此附則ヲ加ヘテ置キマシタナラバ、間違ガナカラウト思ヒマスノデアリマス、此一項ヲ加ヘタイト思ヒマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 藤堂子爵ノ修正説ハ、勸議トシテ成立イタシマシタカラ、採決イタシタイト考ヘマス

○男爵山根武亮君 藤堂男ニ伺ヒマスガ、今ノ附則ハ跡ニ付ケルノデスカ

○男爵藤堂高成君 左様デゴザイマス、此度出マシタ敷設法ノ後トニ付キマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 別ニ御質問アリマセヌカ

○男爵斯波忠三郎君 念ノ爲メ當局ニ伺ヒマスガ、本法施行前鐵道建設費豫算ヲ以テ帝國議會ノ協賛ヲ經タル鐵道線路ハ本法ニ依リ敷設スルモノト看做スト云フ附則ガアル事ニナリマスガ、既ニ協賛ヲ經タモノノ豫算ニ落チテ居ルモノハゴザイマセヌカ、經便線ノ二十一本皆ソレノ何ハ何々トスツカリ出テ居リマスカ

○政府委員(石丸重美君) 落チタモノハアリマセヌ

○男爵阪谷芳郎君 一寸尙ホ私ハ質問イタシマスガ、此四條ノ鐵道會議ニ關スル規定ハ勅令デヲ定メルトアリマスカ、從來ノ鐵道會議ハ餘リ權威ノナイト云フコトヲ決シテ中スノデハゴザイマセヌ、大分先日來十年計畫、又此度ノ法案ニ付テモ議論モアリマシタヤウナ譯デ、餘ホド此重キヲ鐵道會議ニ置ク事柄ガ大ニ加ッテ來タヤウニ考ヘマス、此鐵道會議ヲ從來ヨリモ權威アル、今一層權威アルモノニシテ、十分ニ其公明正大ナル議論ヲ盡サセテ、ソレヲ基礎トシテ將來計畫スルト云フ御考デアリマセウカ、一寸御尋イタシマス

○國務大臣(元田肇君) 従前ノ鐵道會議モ無論相當權威アル方カラ選出サレタ積リデアリマスガ、尙ホ新進……新シイ實驗家學者モアルコトデアリマスカラ、成ルベク十分ナル權威ヲ保ツヤウナヲ選ミマシテ鐵道會議ヲ開キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵阪谷芳郎君 ソレデアリマスレバ、本員ハ先刻延期ノ意味デ原案反對ニ賛成イタシマシタケレドモ、只今ノ御修正ニ依リマスレバ餘ホド法案ノ不備ノ點ヲ補ハレ、且ツ

又鐵道大臣ノ御答辯ニ依リマスルト、先日來イロノ議論サレタ種々ナル缺點ハ、我々希望ノ如ク此鐵道會議ニ於テ注意ヲ加ヘ、又若シ政府當局ニ誤リハアリマスマイケレドモ、若シ誤ッテ場合ニハ鐵道會議ニ於テ之ヲ矯正スルノ途ガアラウト思フ、今ノ修正モ私ハ賛成イタシマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 他ニ御質問御異議ガアリマセヌケレバ採決イタシマス、只今藤堂男爵ヨリ出マシタ修正説ニ賛成ノ御方ノ起立ヲ願ヒマス

〔起立者 總員〕

○委員長(伯爵林博太郎君) 満場一致ト認メマス、是ニテ此修正案ハ通過イタシマシタ

○男爵藤堂高成君 直チニ三讀會ヲ開カレム事ヲ望ミマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 少シ御待チテ願ヒマス、只今ノ修正シタ箇所以外ノ殘タモノ全部ヲ問題ニ供シマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 其他ニ御異議アリマセヌカ

○委員長(伯爵林博太郎君) 御異議ナイモノト認メマス

○男爵藤堂高成君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵林博太郎君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、全部二讀會ノ決議通りテ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵林博太郎君) 御異議ナイト認メマス、是ニテ鐵道敷設法ノ委員會ハ閉會イタシマス

○國務大臣(元田肇君) 私ハ此際十數日ノ間皆様ノ御勵精下スツコトニ付テ、謹デ謝意ヲ表シマス

○政府委員(石丸重美君) 私モ一寸……質問應答ノ中ニ甚ダ不遜ノコトヲ申上ゲタカト存ジマス、ドウカ總テ御許シテ願ヒタイト存ジマス

○男爵阪谷芳郎君 了承イタシマシタ

○委員長(伯爵林博太郎君) 是デ散會イタシマス

午後三時五十五分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵林 博太郎君
副委員長 子爵大河内 正敏君
委員 子爵酒井 忠亮君
子爵野村 益三君
子爵時田 廣城君
男爵山根 武亮君
和田 彦次郎君
男爵古市 公威君

國務大臣
政府委員

內田 嘉吉君	男爵阪谷 芳郎君	中村 是公君	男爵斯波 忠三郎君	男爵岩倉 道俱君	男爵藤堂 高成君	山之内 一次君
鐵道大臣 元田 肇君	鐵道次官 石丸 重美君	井出 繁三郎君	鐵道省運輸局長 中川 正左君	鐵道省建設局長 大村 錦太郎君	鐵道省工務局長 岡野 昇君	鐵道省經理局長 高洲 清二君
鐵道省參事官 本下 謙次郎君						

大正十一年四月十日印刷

大正十一年四月十一日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局